

令和3（2021）年2月16日（火）14:00-16:00 東京大学Cedep・凸版印刷株式会社 共催 共同研究シンポジウム（オンライン開催）
「非認知ってなに？なんで大切なの？どう育てるの？—子育て・保育・教育現場における非認知能力の実態—」

【話題提供】 乳幼児期の非認知能力についての保護者・ 保育者の意識および取り組みに関する調査

東京大学 発達保育実践政策学センター
特任研究員 利根川明子



目次

1. はじめに . . . p2
2. 調査の目的 . . . p3
3. 調査の方法 . . . p3
4. 調査の内容 . . . p4
5. 回答者の属性 . . . p7
6. 主な結果 . . . p17
 - (1) 「非認知能力」についての理解 . . . p17
 - (2) 「非認知能力」の重視度 . . . p18
 - (3) 「非認知能力」についての取り組み . . . p19
 - (4) 18の資質・能力の中で特に大切にしたい力 . . . p22
 - (5) 「10の姿」の中で特に大切にしたい力 . . . p29
 - (6) 園の中で特に伸ばしてほしい資質・能力 . . . p30
 - (7) 資質・能力を育むためのプログラムや取り組みの実施 . . . p33
 - (8) 5つの「非認知能力」の重視度・関心・期待・取り組み . . . p38
8. まとめ . . . p 43

1. はじめに

東京大学発達保育実践政策学センター（Cedep）は、凸版印刷株式会社と共同し、幼児の非認知能力を育成する保育実践についての研究を行っています

その一環として、乳幼児期（0～6歳）のお子さんを持つ保護者の皆様と、保育・幼児教育に携わる園（施設）の先生方・職員の皆様を対象に「**乳幼児期の非認知能力についての意識および取り組み**」の実態について把握することを目的とした質問紙調査を実施しました

調査は2020年9月～11月にかけてWeb調査形式で行い、保護者を対象とした調査では計1,769件、園・保育者を対象とした調査では計409件のご回答を頂きました

本話題提供はこれらの2つの調査

園・保育者を対象とした調査

保護者を対象とした調査

の結果にもとづくものです



調査にご協力くださった皆様に深く御礼申し上げます



2. 調査の目的

これからの保育・幼児教育において、「非認知能力」を含む乳幼児期の多様な心の育ちをどのように支えることができるのか検討するための根拠となる材料（エビデンス）を広く社会で共有するために、乳幼児期（0～6歳）のお子さんを持つ保護者と保育・幼児教育に携わる園（施設）の運営者、園・施設長、保育士・教諭、職員の取り組みの実態について把握すること

3. 調査の方法

＜園・保育者調査＞

【時期】 2020年9月～11月

【対象】 保育・幼児教育に携わる園（施設）の運営者、園長・施設長、保育士・教諭、職員

【手続き】 Googleフォームを利用したWeb調査形式による質問紙調査

- ・ 機縁法による回答：計409件
- ・ 409件の回答を集計対象としました

※回答者の所属する園（施設）の特定や紐付けは行なっておりませんので、同一園（施設）に複数の回答者が所属しているという可能性があります

＜保護者調査＞

【時期】 2020年9月～11月

【対象】 0歳～6歳の未就学のお子さんを持つ保護者

【手続き】 Googleフォームを利用したWeb調査形式による質問紙調査

- ・ 機縁法による回答753件／クラウドソーシングによる回答1,016件
- ・ 計1,769件の回答のうち、全ての回答が同一であるなど重複送信されたと判断されたもの（79件）と「0～6歳の未就学のお子さん」について回答していないもの（7件）を除外し、1,683件の回答を集計対象としました



4. 調査の内容

＜園・保育者調査＞

- (1) 回答者自身の基本情報
- (2) 回答者が所属する園（施設）の基本情報
- (3) 「非認知能力」に関する理解・重視度と園での研修や活動の取り組み
- (4) 子どもの資質・能力についての意識★
- (5) 「非認知能力」に含まれる5つの資質・能力についての重視度や取り組み

★2つの調査に共通して
「子どもの資質・能力に
についての意識」の質問で
18の資質・能力について
お尋ねしました



＜保護者調査＞

- (1) 回答者自身と家庭の基本情報
- (2) お子さんの基本情報
- (3) 「非認知能力」に関する理解・重視度・家庭での取り組み
- (4) お子さんの資質・能力についての意識★
- (5) 家庭での取り組み（習い事・学習など）と園に期待すること
- (6) 「非認知能力」に含まれる5つの資質・能力についての重視度や取り組み

※複数のお子さんがある場合は「0歳～6歳の未就学のお子さんの中で一番上のお子さん1人」について回答を求めました

★今回の調査で取り上げた18の資質・能力

「認知能力」 (児童期以降の 各教科の学力) に関連する力 【7つ】	(1) 文字を読んだり書いたりする力
	(2) 言葉で伝えたり聞いて理解したりする力
	(3) 数, 図形, 記号などを使ったり理解したりする力
	(4) 理科や科学に関する知識と理解力
	(5) 社会の仕組みや地理・歴史に関する知識と理解力
	(6) 英語など外国語の語学力
	(7) プログラミングなど情報処理に関わる力
	(8) からだを上手に使うことができる運動能力や健康に資する体力
	(9) お絵かきや音楽などの表現力・芸術的感性
「非認知能力」 に関連する力 【9つ】	(10) 自分自身を好きだと思える心（ 自尊感情 ）
	(11) 物事に興味・関心を持ち, 自分から進んで取り組む力（ 興味・知的好奇心・内発的動機づけ ）
	(12) 自分にはできないと決めつけず, 自信をもって取り組む力（ 自己効力感 ）
	(13) 物事を最後までやり抜く粘り強さ（ 忍耐力・グリット・エンゲージメント ）
	(14) 相手の気持ちを読み取ったり, 自分の気持ちを上手に表現したりする力（ 感情知性・EI ）
	(15) 困っている人に共感したり, 助けてあげようとしたりする思いやりの心（ 共感・向社会性 ）
	(16) 大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり, 固執せず柔軟に対応したりする力（ セルフコントロール・自制心 ）
	(17) 生活習慣や社会的ルール, 礼儀正しさを守ろうとする心（ 規範意識・道徳性 ）
	(18) 他の人と協力して何かをやり遂げる力（ 協同性・協働性 ）

注) 表中の () 内は関連する非認知能力を示します

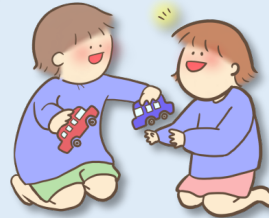
特に取り上げた5つの「非認知能力」



【自己に関わる心之力】

自分を大切にする力
自分を高めようとする力

自尊感情
忍耐力
動機づけ など
自己効力感
好奇心



【セルフコントロール】

大切な目標または他の人のために
自分の感情をコントロールする力



【社会性に関わる心之力】

人との関係を作り維持する力
人とうまくやっていく力



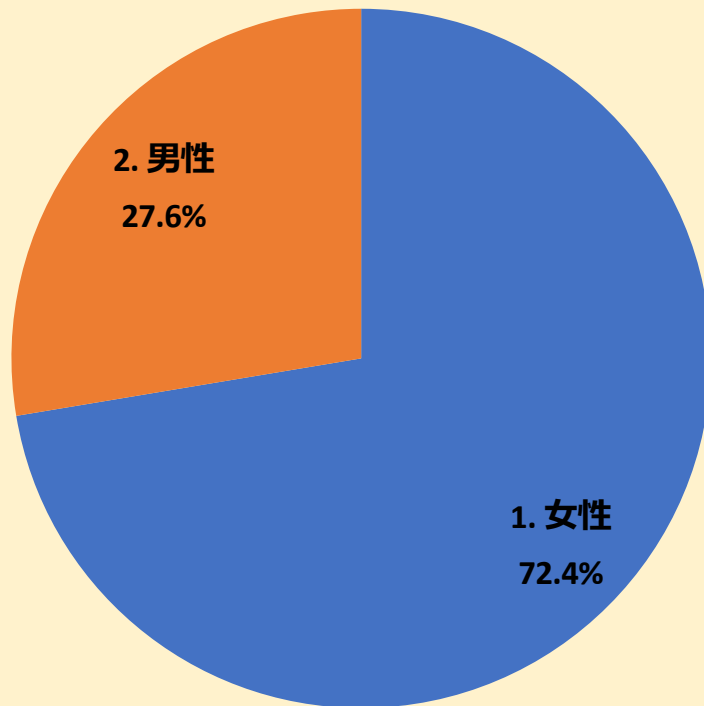
共感性
向社会性
心の理論 など
感情知性 (EI)

内発的動機づけ／自己効力感／感情知性／向社会性／セルフコントロール

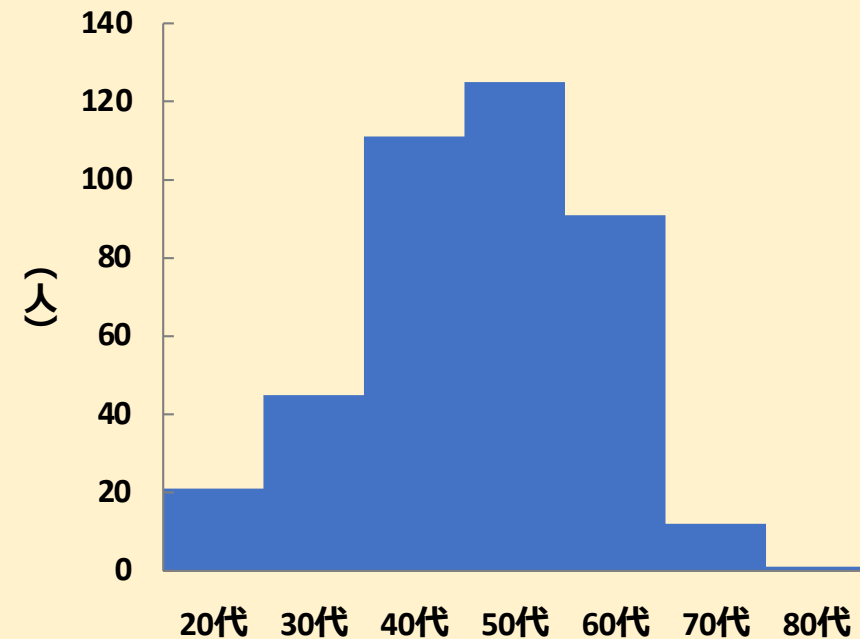
の5つを個別の質問として取り上げて

それぞれの重視度・関心・期待・取り組みについてお尋ねしました

5. 回答者の属性＜園・保育者調査＞



回答者の性別 (%)

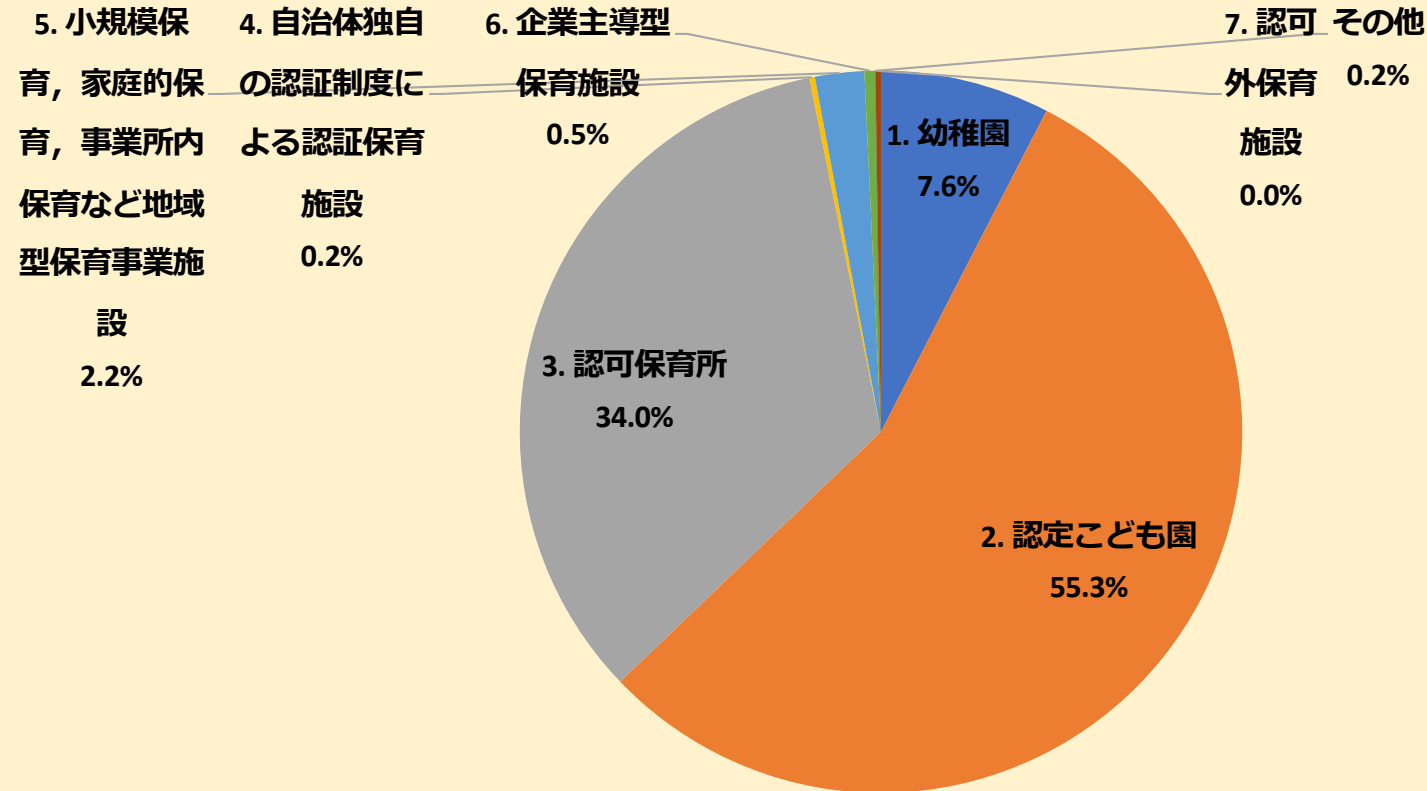


回答者の年齢

回答者の人数：409名（女性296名，男性113名）

回答者の平均年齢：50.9歳（SD=11.5，レンジ21～80歳，回答なし3名）

5. 回答者の属性＜園・保育者調査＞



所属する園（施設）の種別（%）

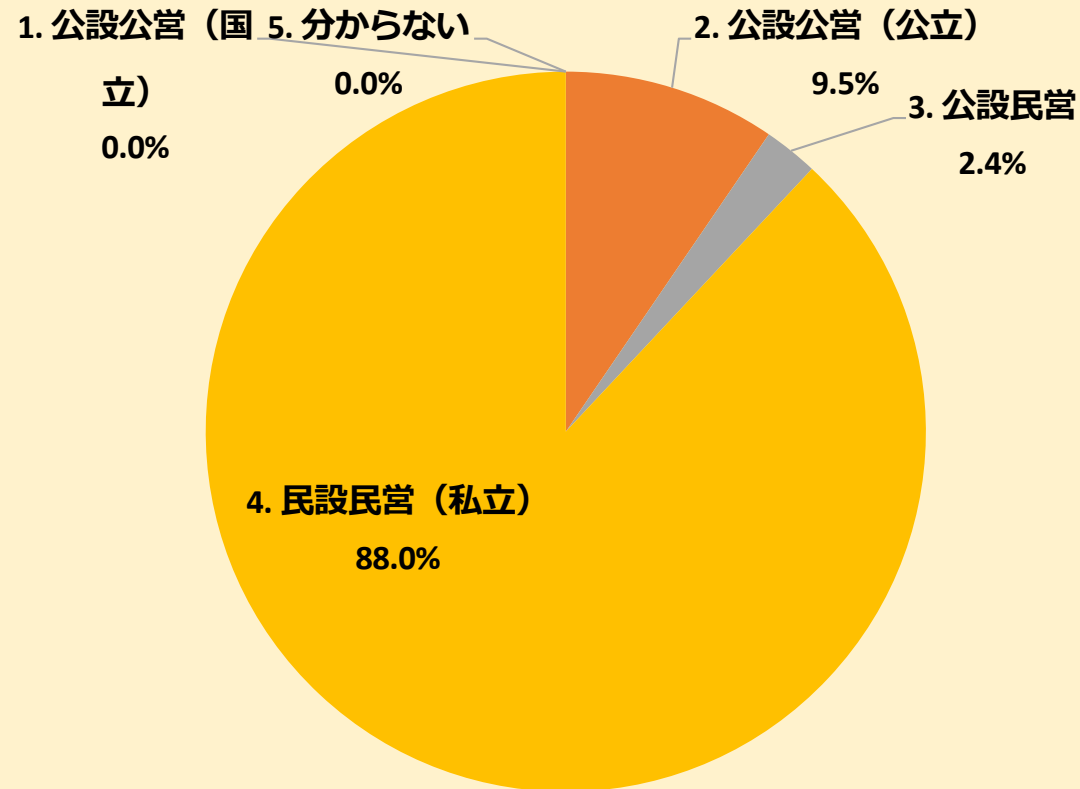
注）すべての回答者への質問（N=409）

園（施設）の所在地域：42の都道府県

（多い順に(1)静岡県（10.8%）／(2)福岡県（7.6%）／(3)宮崎県（6.4%）...）

園（施設）の種別：多い順に「認定こども園」（55.3%）／「認可保育所」（34.0%）／「幼稚園」（7.6%）でした

5. 回答者の属性＜園・保育者調査＞

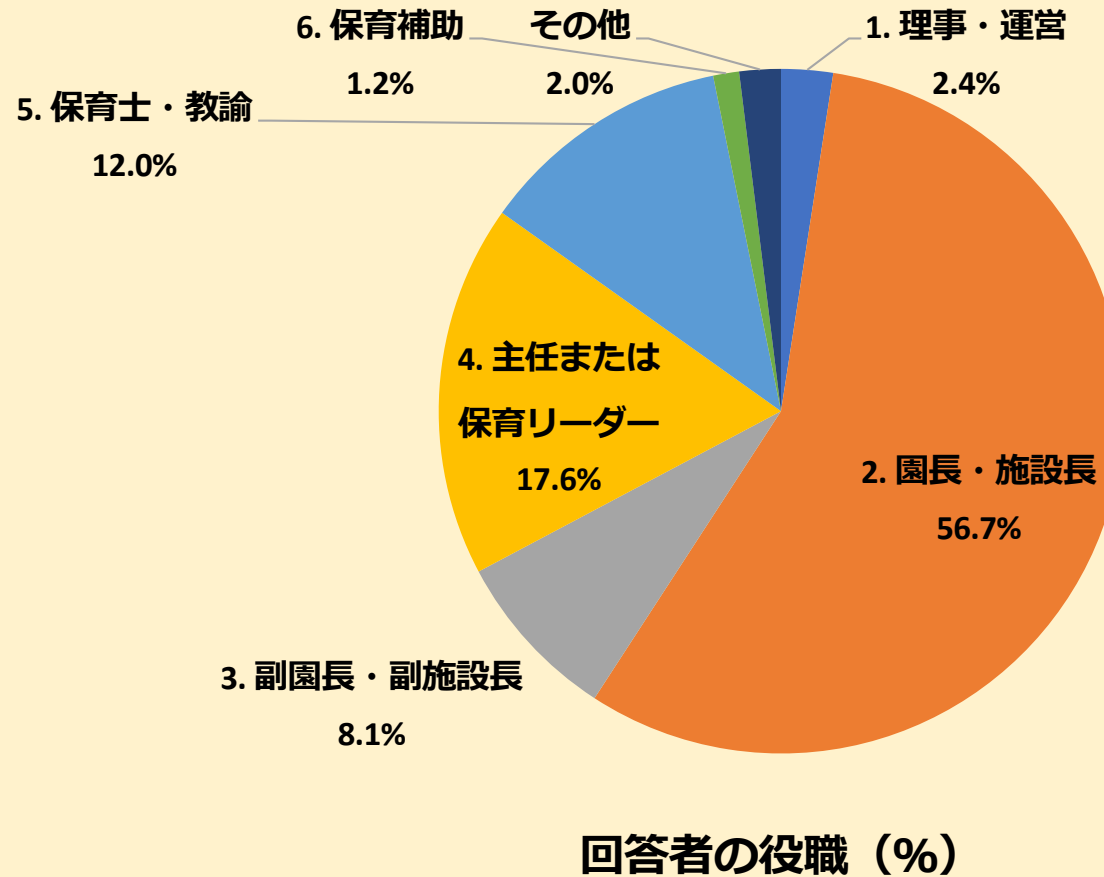


園（施設）の設置主体（%）

注）「4. 民設民営（私立）」には学校法人，社会福祉法人，宗教法人，企業を含みます

園（施設）の設置主体：多い順に「民設民営（私立）」（88.0%）／「公設公営（公立）」（9.5%）／「公設民営」（2.4%）でした

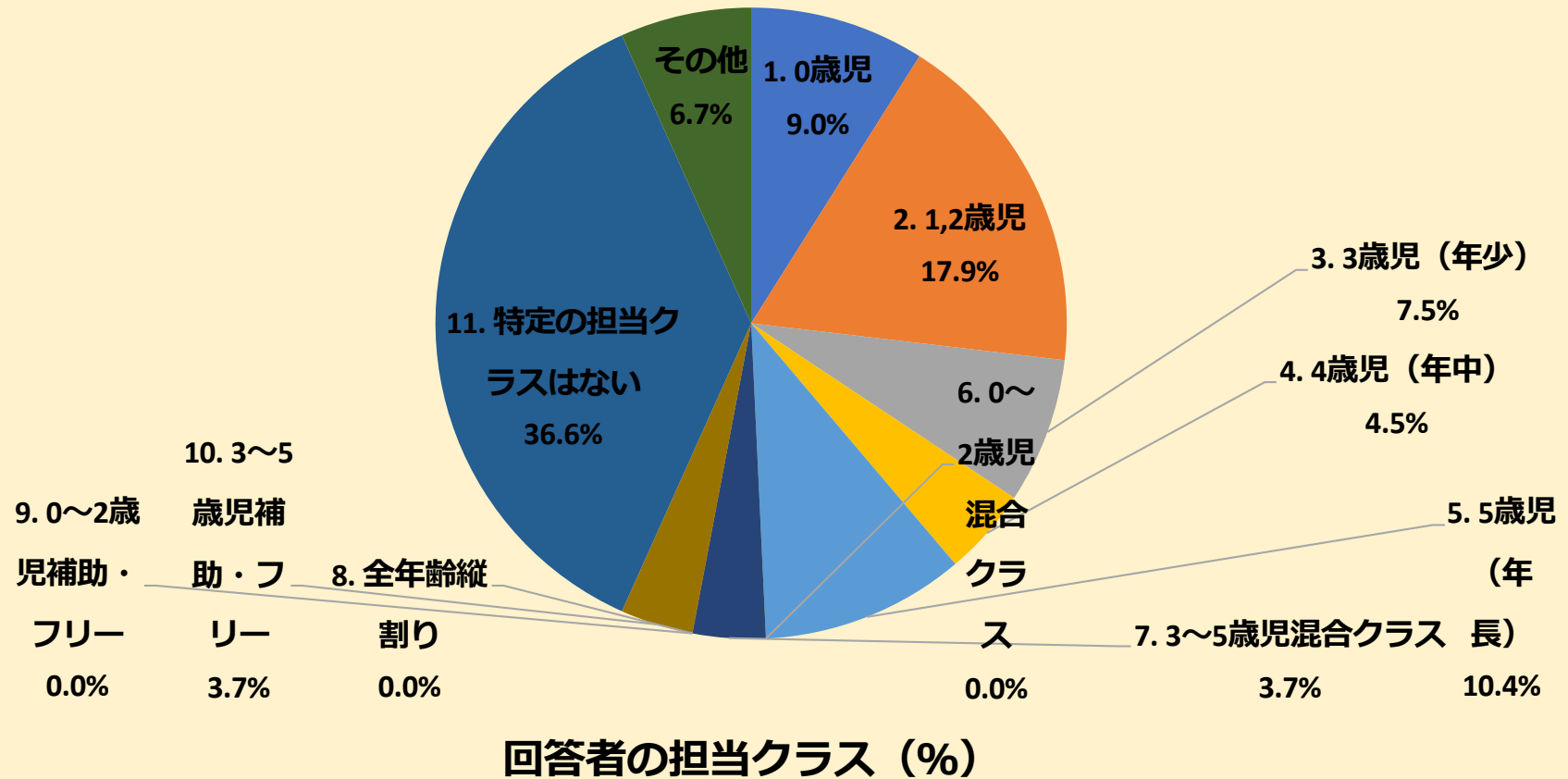
5. 回答者の属性＜園・保育者調査＞



注) すべての回答者への質問 (N=409)

回答者の園（施設）での役職：多い順に「園長・施設長」（56.7%）／「主任または保育リーダー」（17.6%）／「保育士・教諭」（12.0%）でした

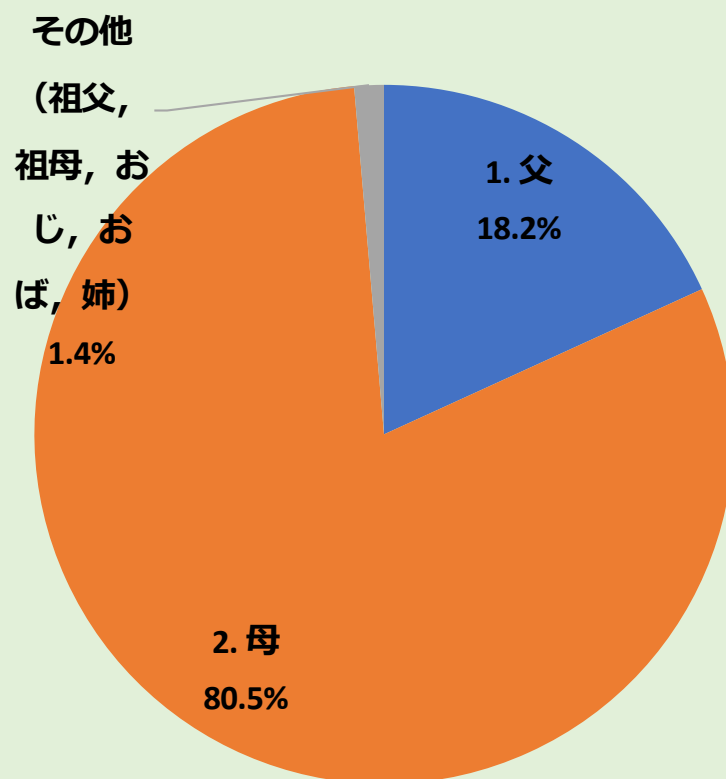
5. 回答者の属性＜園・保育者調査＞



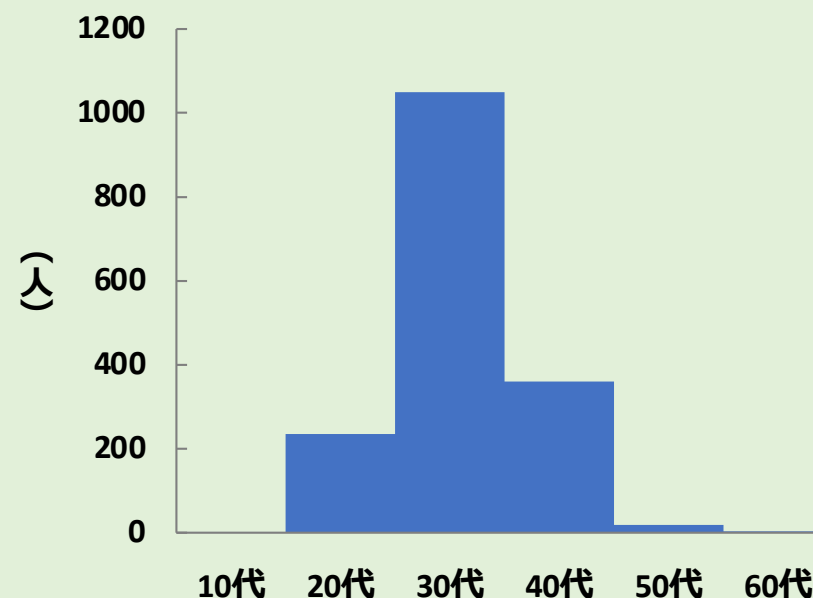
注）理事・運営，園長・施設長，副園長・副施設長以外の役職の回答者に対する質問（N=134）

担当クラス：多い順に「特定の担当クラスはない」（36.6%）／「1,2歳児」（17.9%）／「5歳児（年長）」（10.4%）／「0歳児」（9.0%）でした

5. 回答者の属性＜保護者調査＞



お子さんから見た関係性 (%)



回答者の年齢

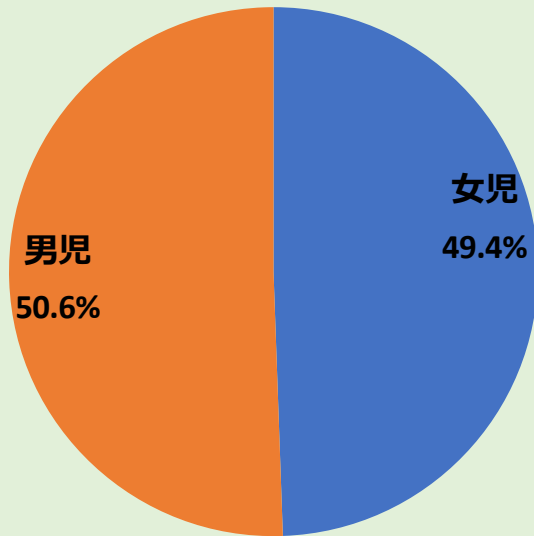
回答者の人数：1,683 名（父306名，母1,354名，その他23名）

回答者の平均年齢：35.4歳（SD=5.8，レンジ19～65歳，回答なし13名）

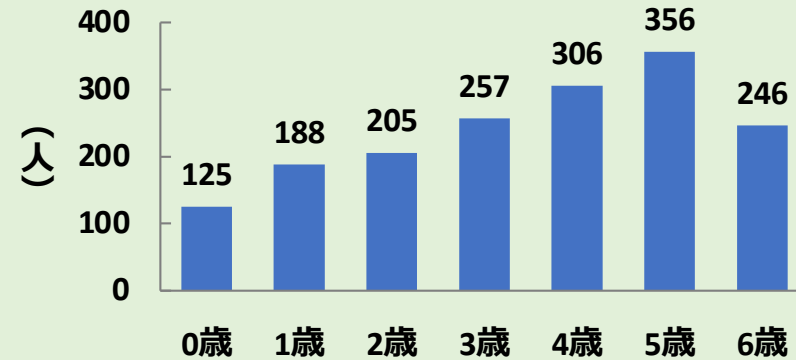
回答者の居住地：47の都道府県

（多い順に(1)東京都（12.9%）／(2)静岡県（12.3%）／(3)大阪府（5.6%）...）

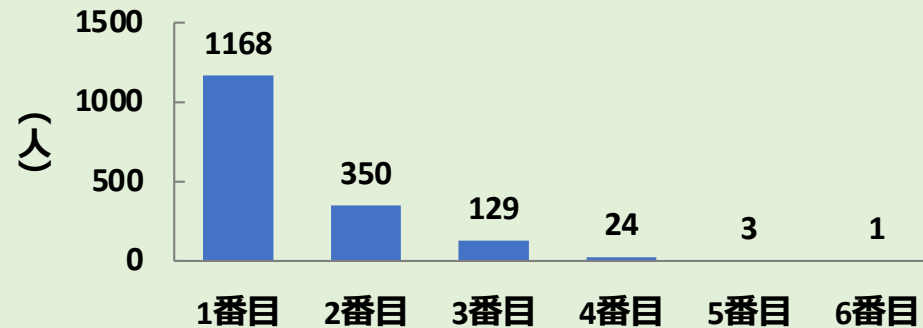
5. 回答者の属性＜保護者調査＞



お子さんの性別 (%)



お子さんの年齢

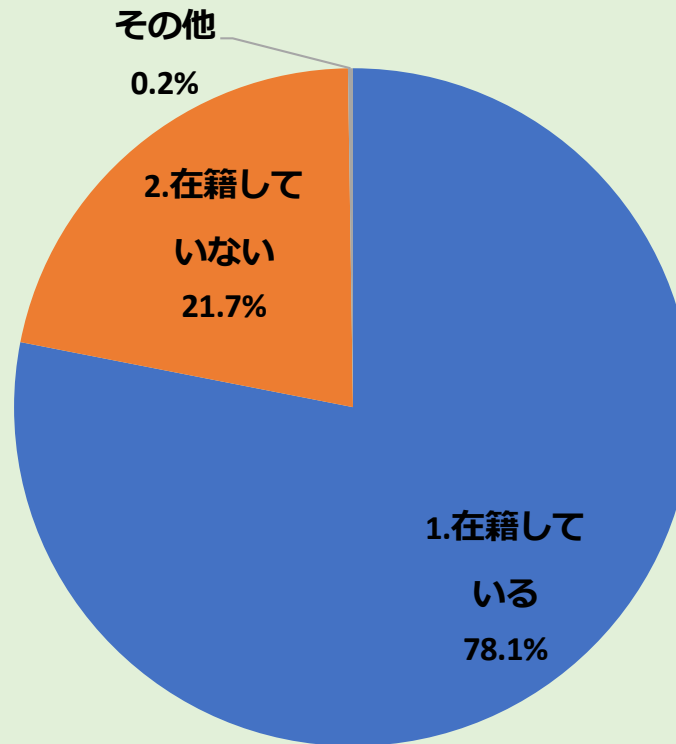


お子さんの出生順位

注) 複数のお子さんがある場合, 「0歳～6歳の未就学のお子さんの中で一番上のお子さんお1人」についてお尋ねしました

お子さんの性別: 女児832名 (49.4%) / 男児851名 (50.6%)
お子さんの年齢: 0歳125名 (7.4%) / 1歳188名 (11.2%) / 2歳205名 (12.2%) / 3歳257名 (15.3%) / 4歳306名 (18.2%) / 5歳356名 (21.2%) / 6歳246名 (14.6%)
出生順位: 1番目1,168名 (69.4%) / 2番目350名 (20.8%) / 3番目129名 (7.7%) / 4番目24名 (1.4%) / 5番目3名 (0.2%) / 6番目1名 (0.1%) / 回答なし8名 (0.5%)

5. 回答者の属性＜保護者調査＞

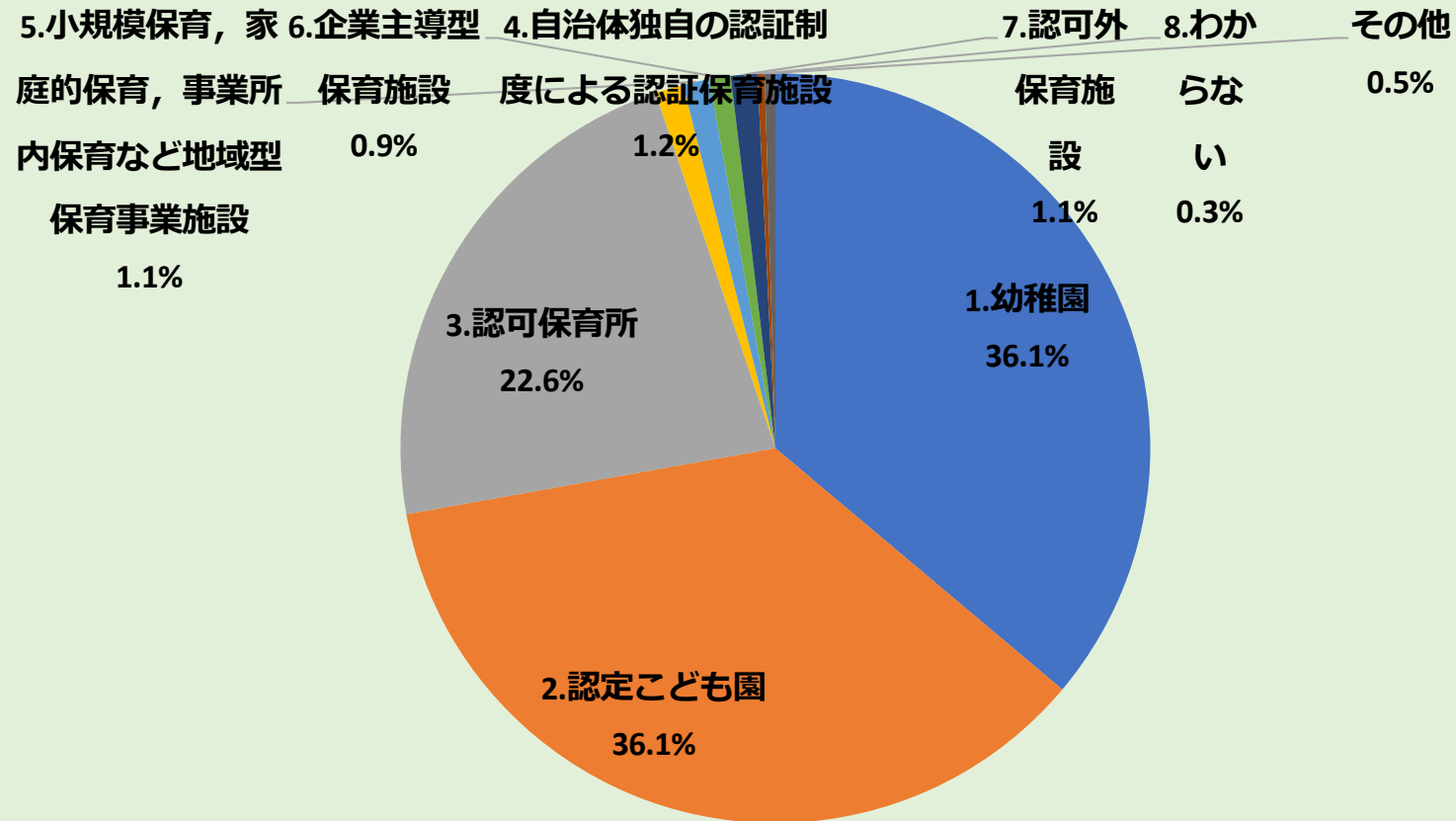


お子さんの保育園・幼稚園など保育・幼児教育施設への在籍状況（%）

注）複数のお子さんがある場合、「0歳～6歳の未就学のお子さんの中で一番上のお子さんお1人」についてお尋ねしました

園（施設）への在籍状況：「在籍している」（78.1%）／「在籍していない」（21.7%）／「その他」（0.2%）

5. 回答者の属性＜保護者調査＞

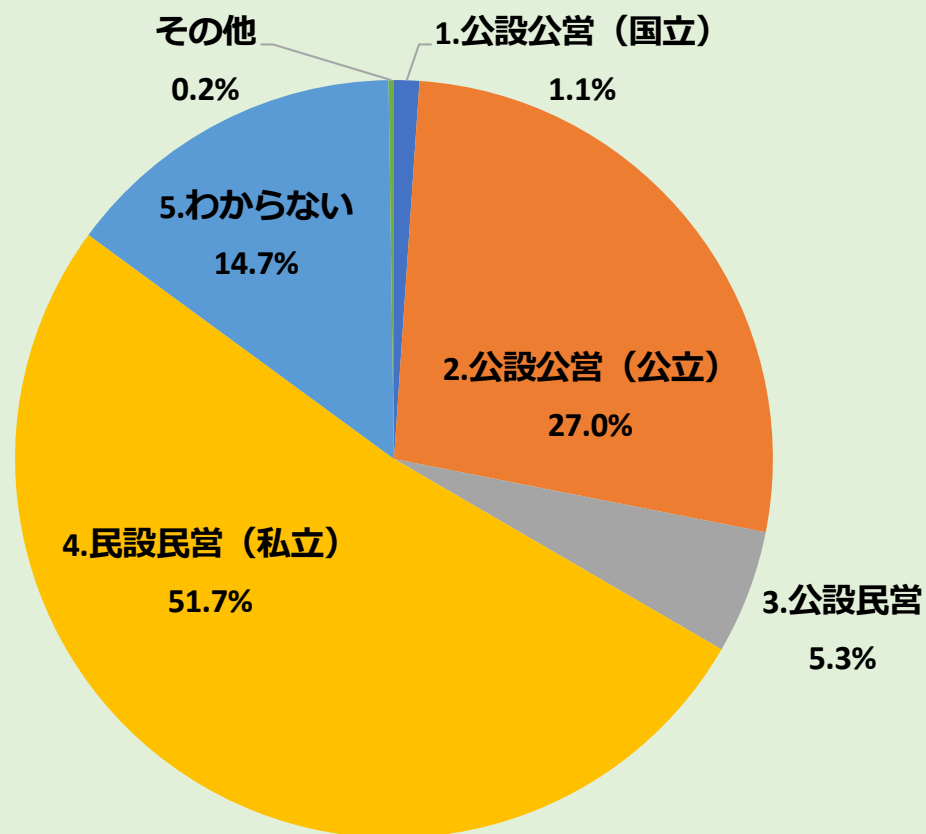


お子さんが在籍している園（施設）の種別（%）

注）複数のお子さんがある場合、「0歳～6歳の未就学のお子さんの中で一番上のお子さんお1人」についてお尋ねしました

園（施設）の種別：多い順に「幼稚園」（36.1%）／「認定こども園」（36.1%）／「認可保育所」（22.6%）でした

5. 回答者の属性＜保護者調査＞



お子さんが在籍する園（施設）の設置主体（%）

注）複数のお子さんがある場合、「0歳～6歳の未就学のお子さんの中で一番上のお子さんお1人」についてお尋ねしました

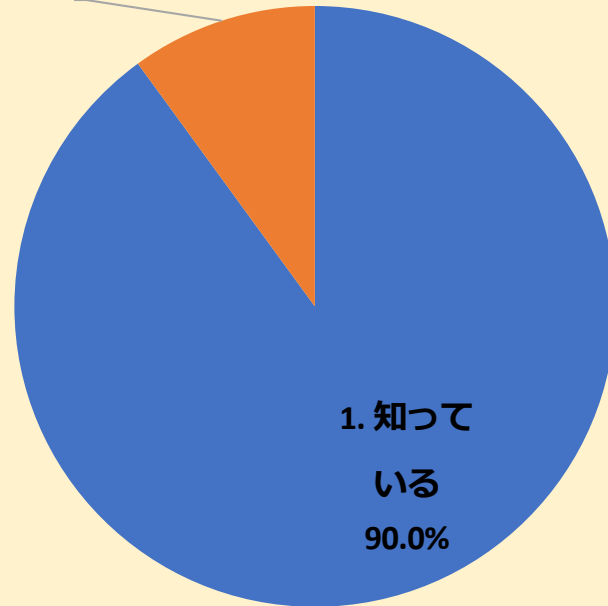
園（施設）の設置主体：多い順に「民設民営（私立）」（51.7%）／「公設公営（公立）」（27.0%）／「公設民営」（5.3%）でした

6. 主な結果

（1）「非認知能力」についての理解

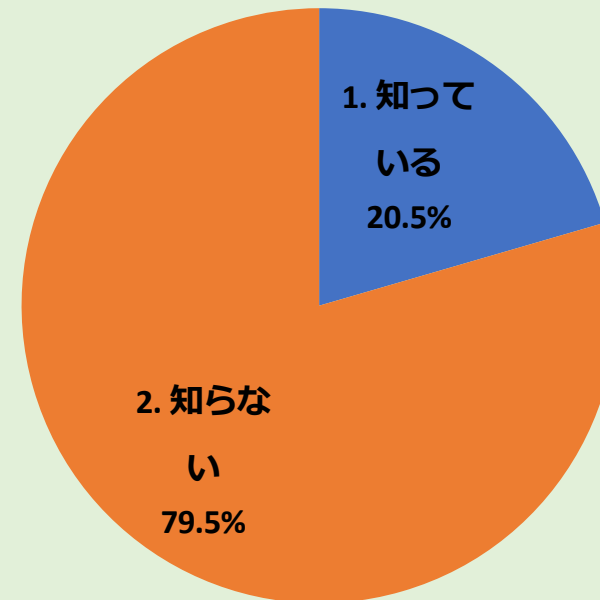
＜園・保育者調査＞

2. 知らない
10.0%



注) すべての回答者への質問 (N=409)

＜保護者調査＞



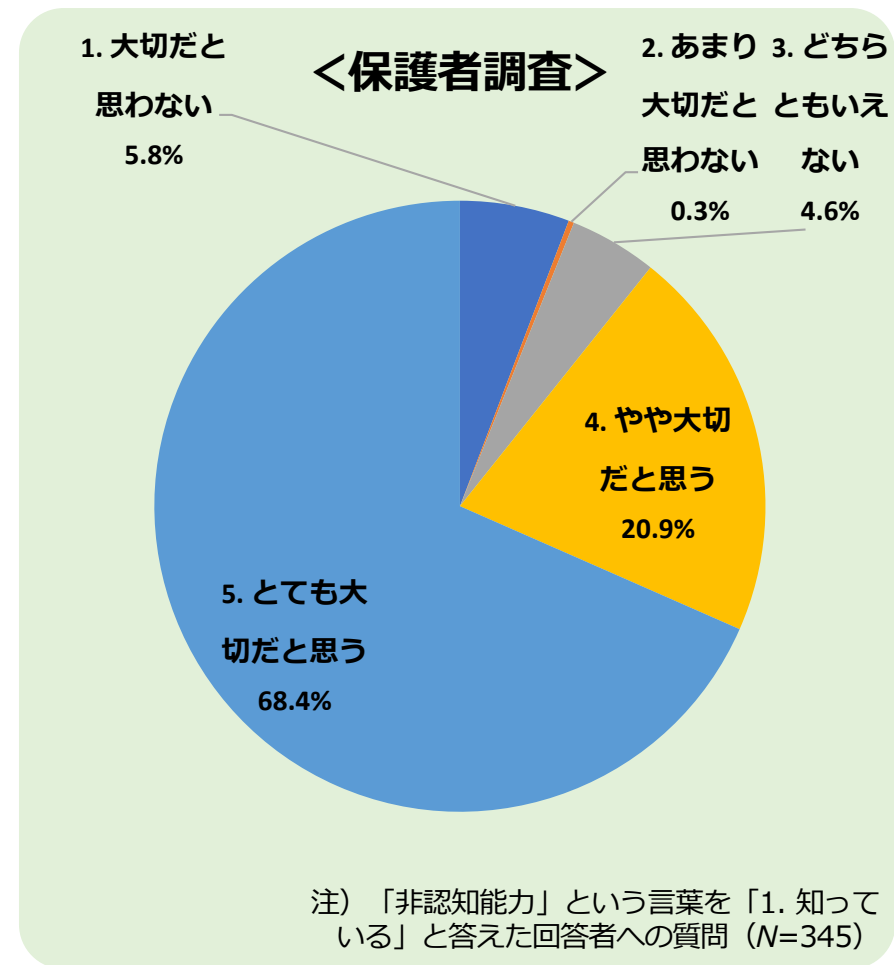
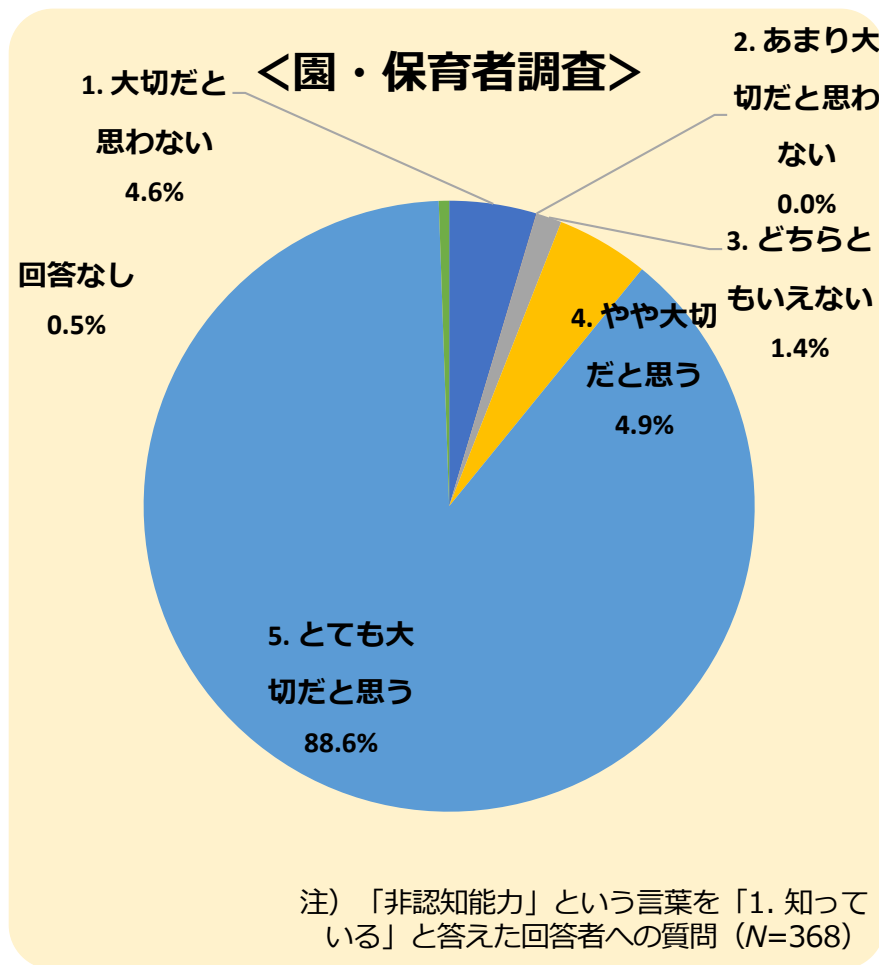
注) すべての回答者への質問 (N=1,683)

Q. 「非認知能力」という言葉をご存知ですか？

＜園・保育者調査＞では「非認知能力」という言葉を「知っている」（90.0%）回答者が多く、＜保護者調査＞では「知らない」（79.5%）回答者が多く見られました（回答の偏りは、調査依頼の方法の違いによるものである可能性があります）

6. 主な結果

（2）「非認知能力」の重視度



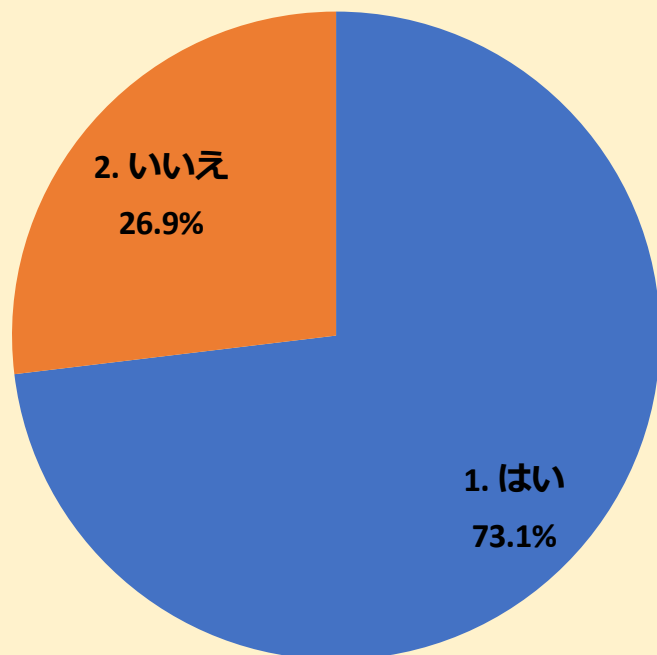
Q. 「非認知能力」をどのくらい重視していますか？

＜園・保育者調査＞ ＜保護者調査＞ともに「非認知能力」を「とても大切だと思う」または「やや大切だと思う」という回答を合わせて90%近くを占めていました

<園・保育者調査>

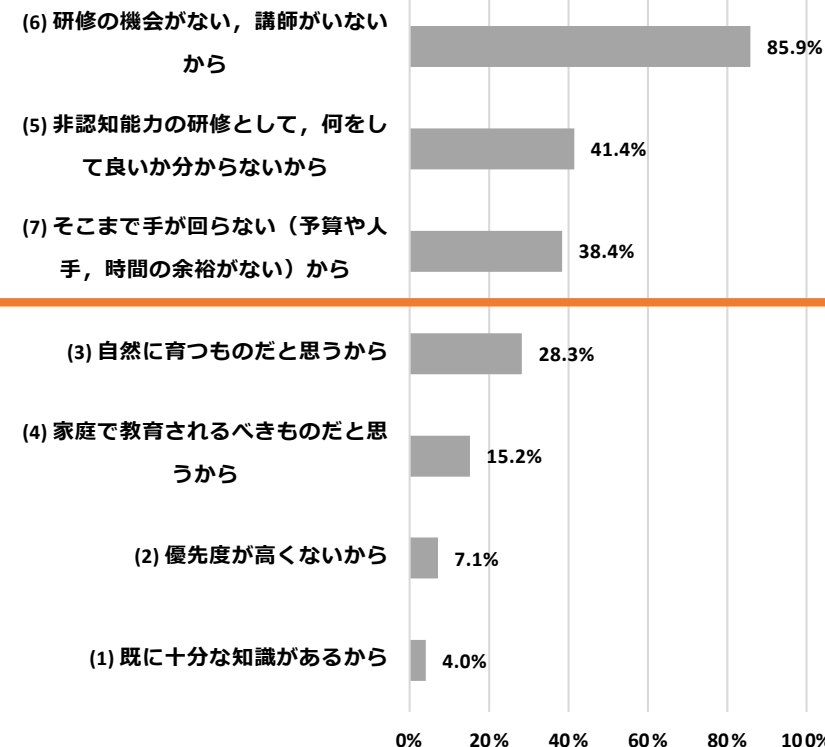
6. 主な結果

(3) 「非認知能力」についての取り組み



研修・勉強会の実施・参加の有無

注) 「非認知能力」という言葉を「1. 知っている」と答えた回答者への質問 (N=368)



していない理由

注) 「非認知能力」についての研修や勉強会の実施・参加をしていない (「2. いいえ」) と答えた回答者への質問 (N=99)

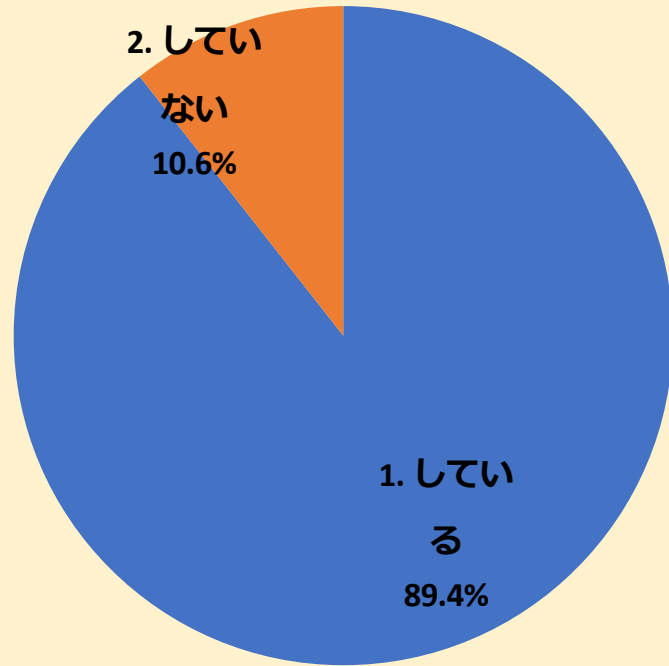
Q. 「非認知能力」についての研修や勉強会などの実施・参加をしていますか？

研修や勉強会などの実施・参加を「している」(73.1%)という方が多くみられました
 「していない」理由は, 多い順に「研修の機会がない, 講師がいないから」(85.9%)
 / 「非認知能力の研修として, 何をしたら良いか分からないから」(41.4%)
 / 「そこまで手が回らない (予算や人手, 時間の余裕がない) から」(38.4%)でした

<園・保育者調査>

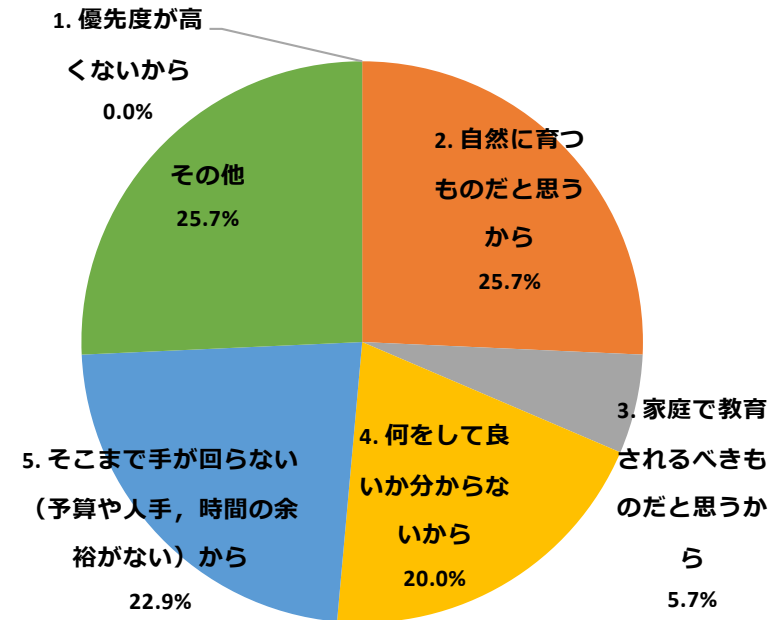
6. 主な結果

(3) 「非認知能力」についての取り組み



園（施設）での取り組みの有無

注）「非認知能力」という言葉を「1. 知っている」と答えた回答者への質問（N=368）



していない理由

注）「非認知能力」を育むための取り組みを「2. していない」と答えた回答者への質問（N=35）

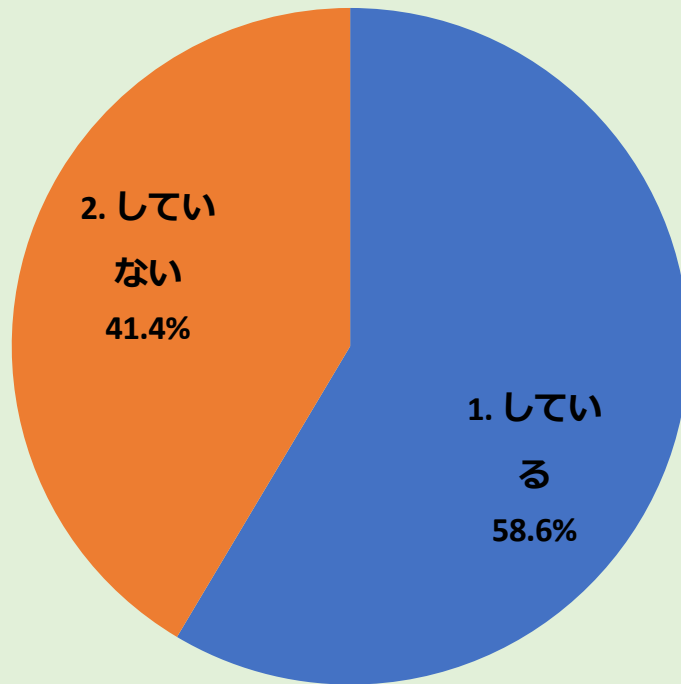
Q. 「非認知能力」を育むための具体的な実践や取り組みを園（施設）でしていますか？

実践や取り組みを園（施設）で「している」（89.4%）という回答が90%近くを占めていました。「していない」理由は、多い順に「自然に育つものだと思うから」（25.7%）／「そこまで手が回らない（予算や人手、時間の余裕がない）から」（22.9%）／「何をしても良いかわからないから」（20.0%）でした

<保護者調査>

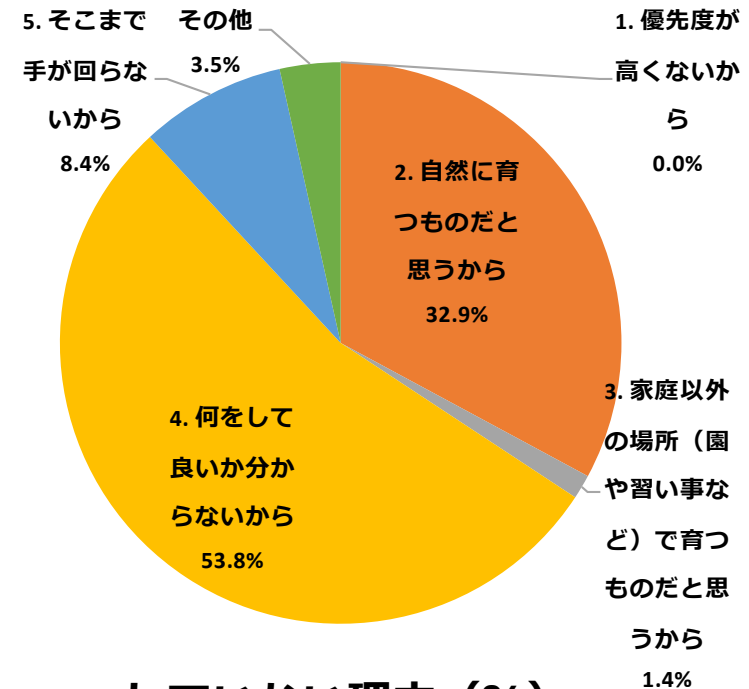
6. 主な結果

(3) 「非認知能力」についての取り組み



家庭での働きかけ・工夫の有無

注) 「非認知能力」という言葉を「1. 知っている」と答えた回答者への質問 (N=345)



していない理由 (%)

注) 「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫を「2. していない」と答えた回答者への質問 (N=143)

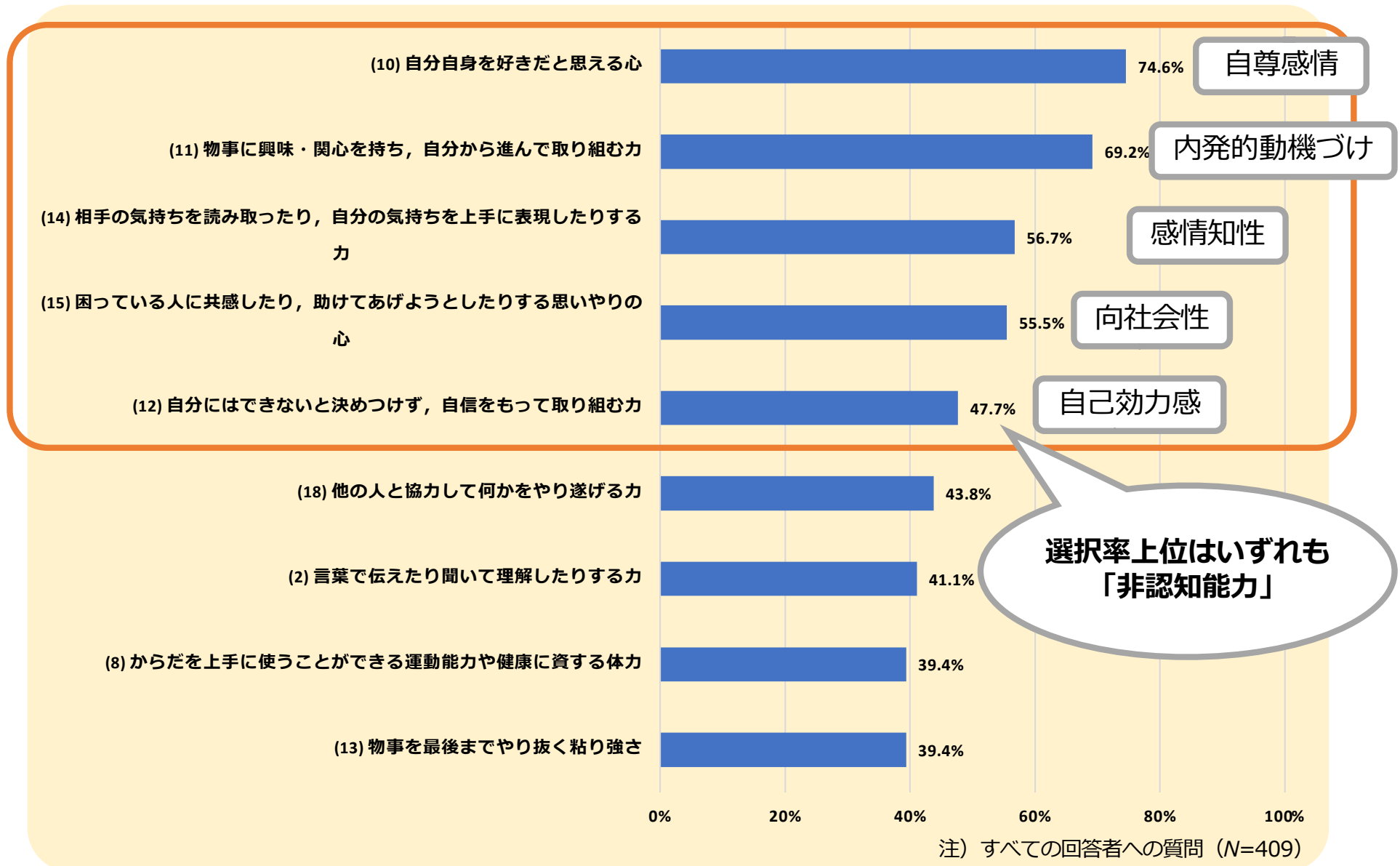
Q.お子さんの「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でしていますか？

働きかけや工夫をご家庭で「している」(58.6%)という回答が半数以上を占めていました
 「していない」理由は、多い順に「何をして良いか分からないから」(53.8%) / 「自然に育
 つものだと思うから」(32.9%) / 「そこまで手が回らないから」(8.4%)でした

<園・保育者調査>

6. 主な結果

（4）18の資質・能力の中で特に大切にしたい力

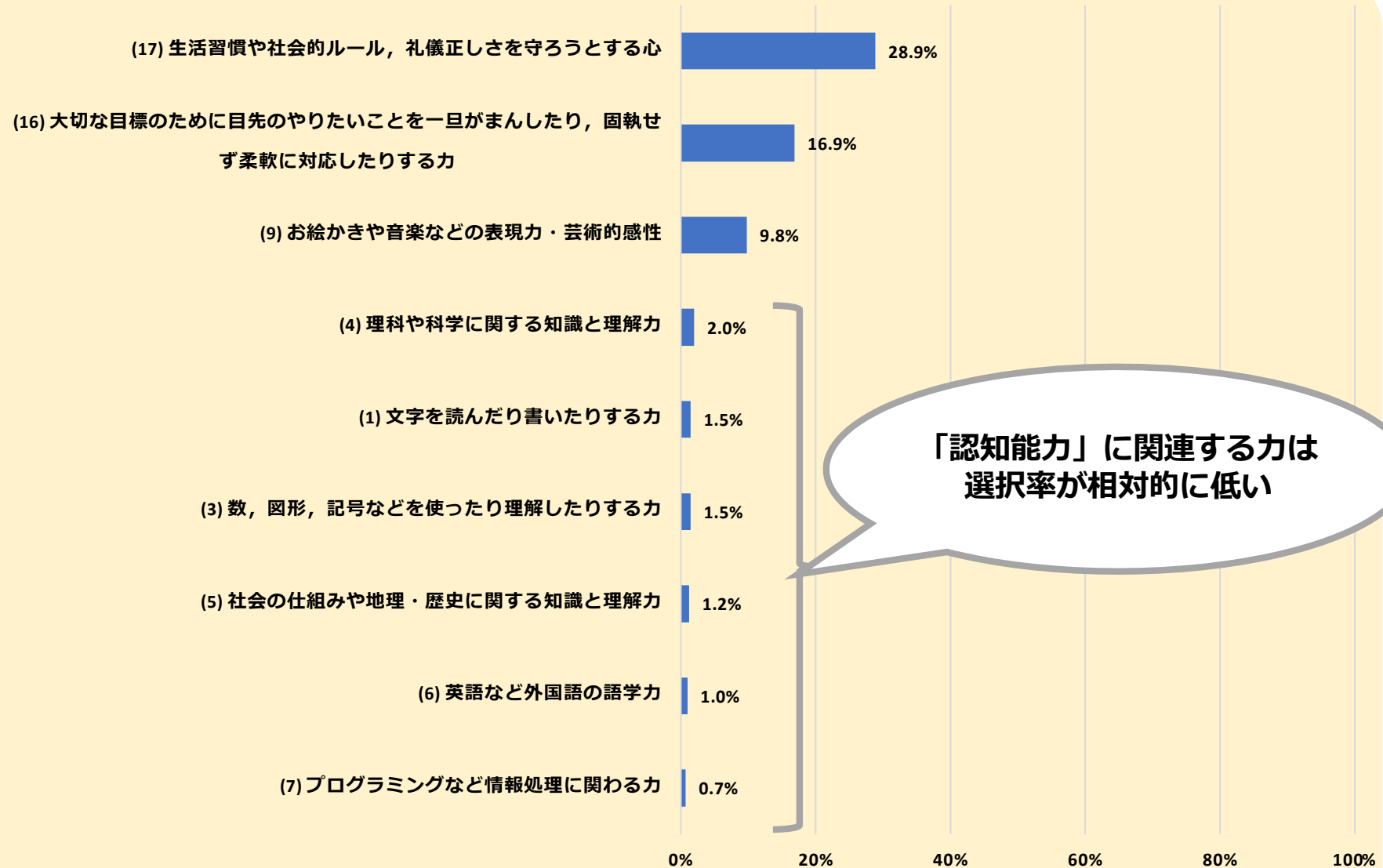


Q. 18の資質・能力の中で特に大切にしたい力【上位5つを選択】

<園・保育者調査>

6. 主な結果

（4）18の資質・能力の中で特に大切にしたい力



注) すべての回答者への質問 (N=409)

＜園・保育者調査＞

6. 主な結果
(4) 18の資質・能力の中で特に大切にしたい力



＜園・保育者調査＞では
18の資質・能力の中で特に大切にしたい力として選択した人の割合が多いのは、順に

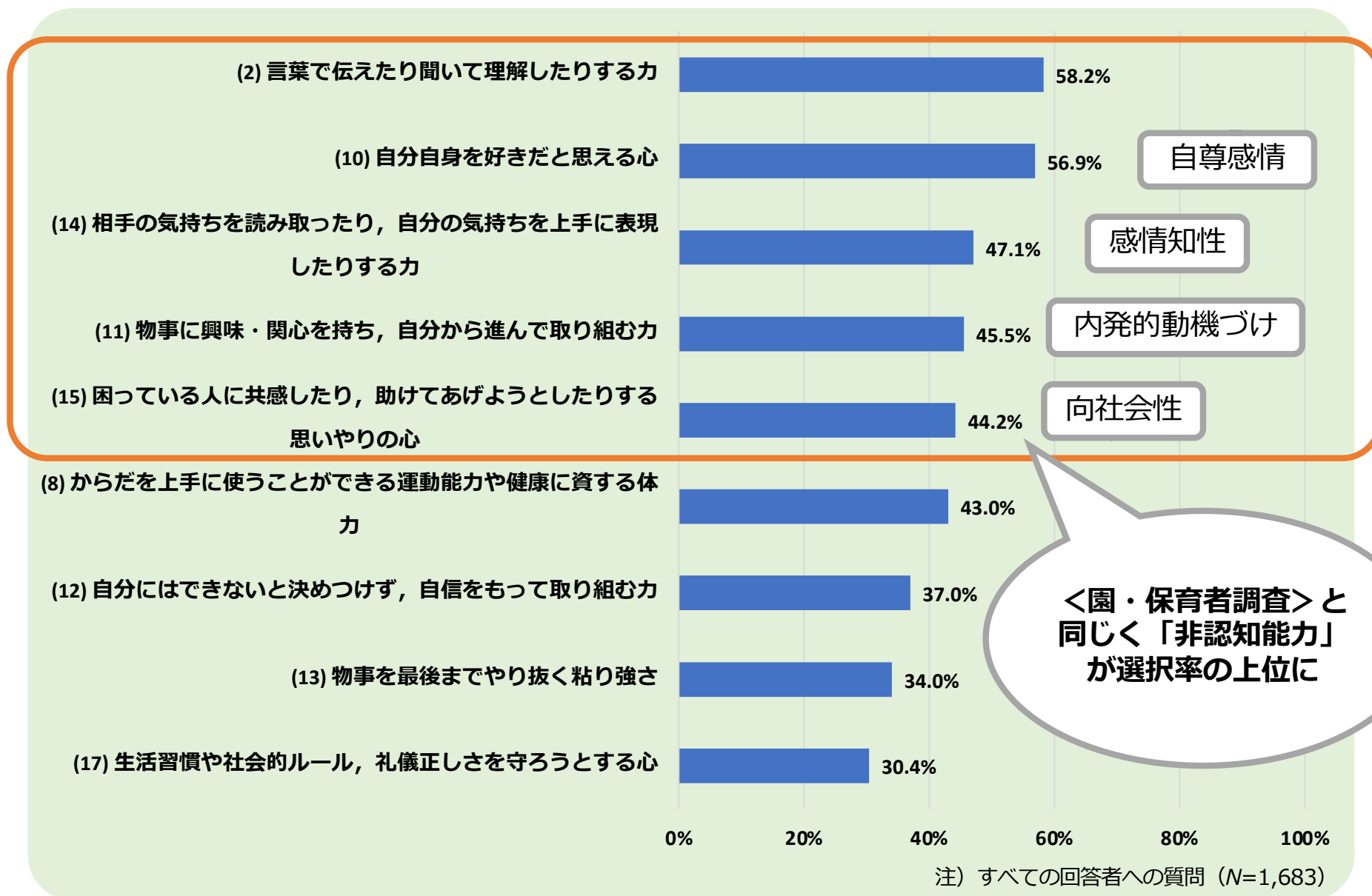
- 1番目「自分自身を好きだと思える心」（74.6%）
- 2番目「物事に興味・関心を持ち，自分から進んで取り組む力」（69.2%）
- 3番目「相手の気持ちを読み取ったり，自分の気持ちを上手に表現したりする力」
（56.7%）
- 4番目「困っている人に共感したり，助けてあげようとしたりする思いやりの心」
（55.5%）
- 5番目「自分にはできないと決めつけず，自信をもって取り組む力」（47.7%）でした

選択率上位はいずれも「非認知能力」で，「認知能力」
に関連する力は選択率が低い傾向にありました

<保護者調査>

6. 主な結果

（4）18の資質・能力の中で特に大切にしたい力

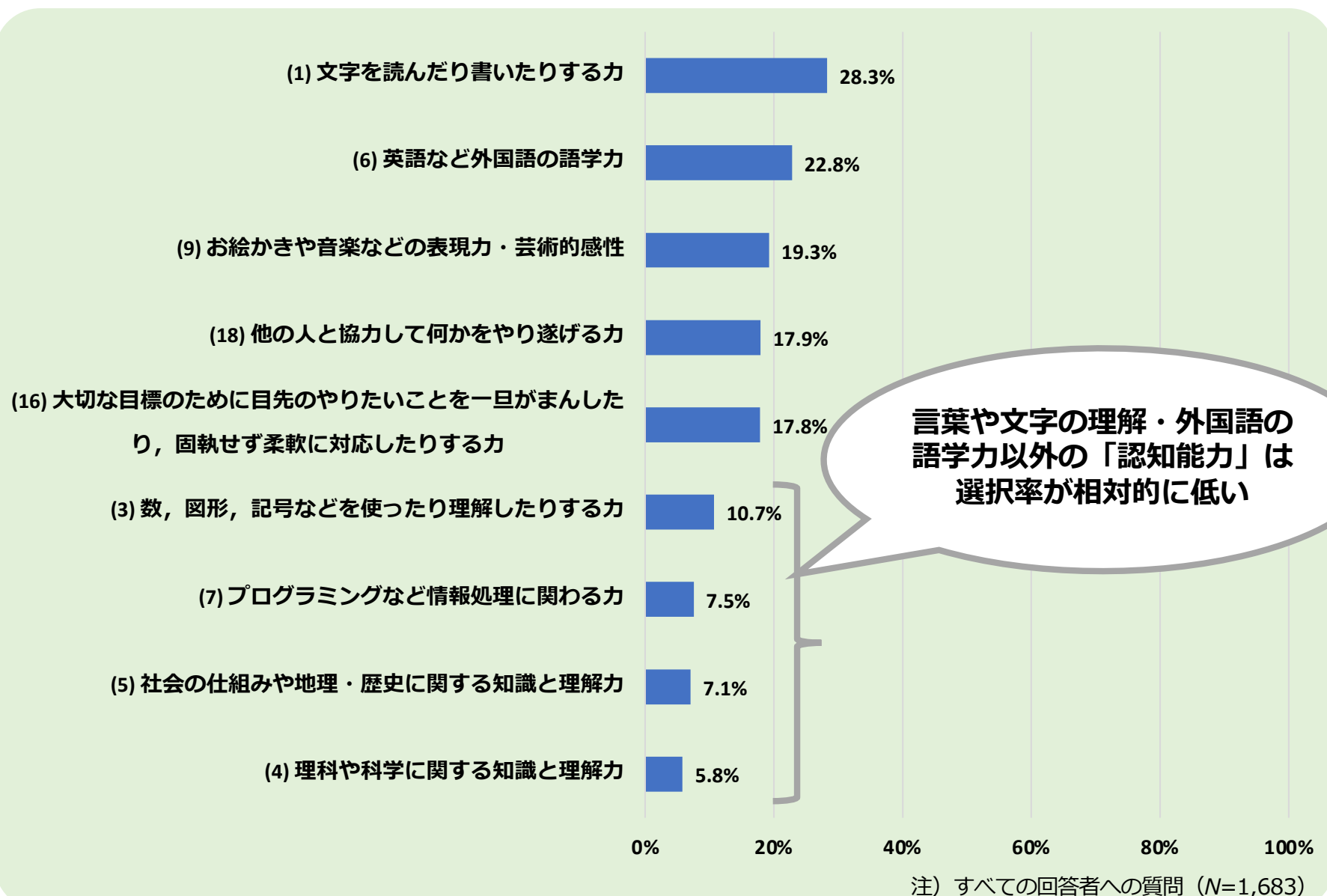


Q. 18の資質・能力の中で特に大切にしたい力【上位5つを選択】

<保護者調査>

6. 主な結果

（4）18の資質・能力の中で特に大切にしたい力



＜保護者調査＞

6. 主な結果
(4) 18の資質・能力の中で特に大切にしたい力

＜保護者調査＞では

18の資質・能力の中で特に大切にしたい力として選択した人の割合が多いのは、順に

1番目「言葉で伝えたり聞いて理解したりする力」（58.2%）

2番目「自分自身を好きだと思える心」（56.9%）

3番目「相手の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを上手に表現したりする力」
（47.1%）

4番目「物事に興味・関心を持ち、自分から進んで取り組む力」（45.5%）

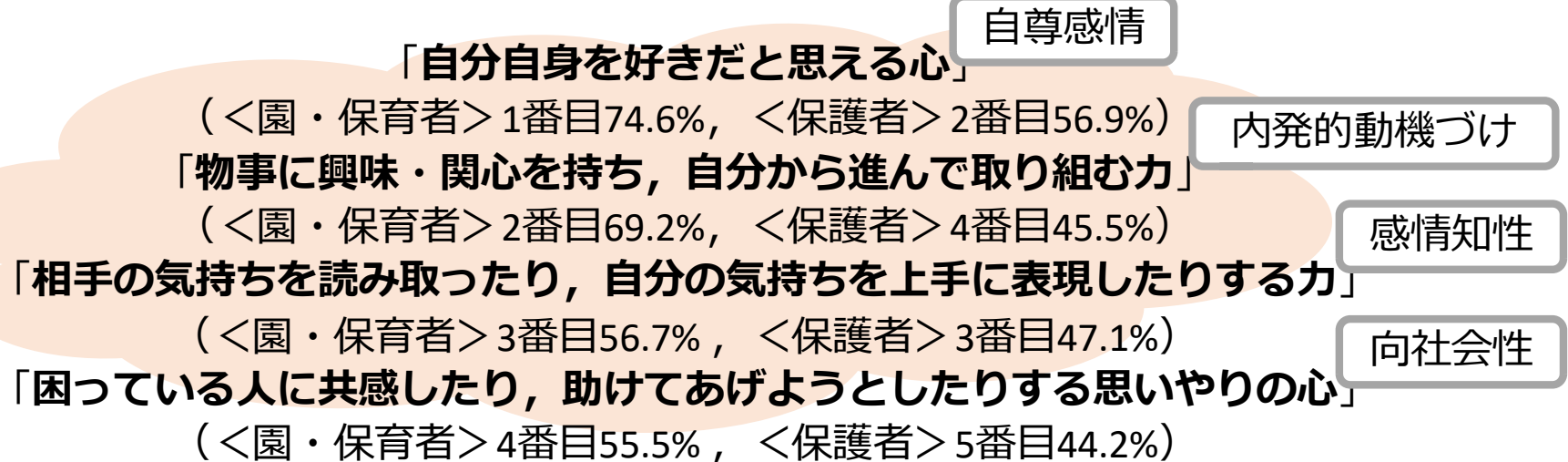
5番目「困っている人に共感したり、助けてあげようとしたりする思いやりの心」
（44.2%）でした

これらの資質・能力は、0～6歳までお子さんの年齢によらず
「特に大切にしたい」と選択した人の割合が多く見られました

6. 主な結果

（4）18の資質・能力の中で特に大切にしたい力

＜園・保育者調査＞＜保護者調査＞ともに18の資質・能力の中で特に大切にしたい上位の資質・能力に「非認知能力」が含まれていました



また，＜保護者調査＞の選択率が最も多い「言葉で伝えたり聞いて理解したりする力」

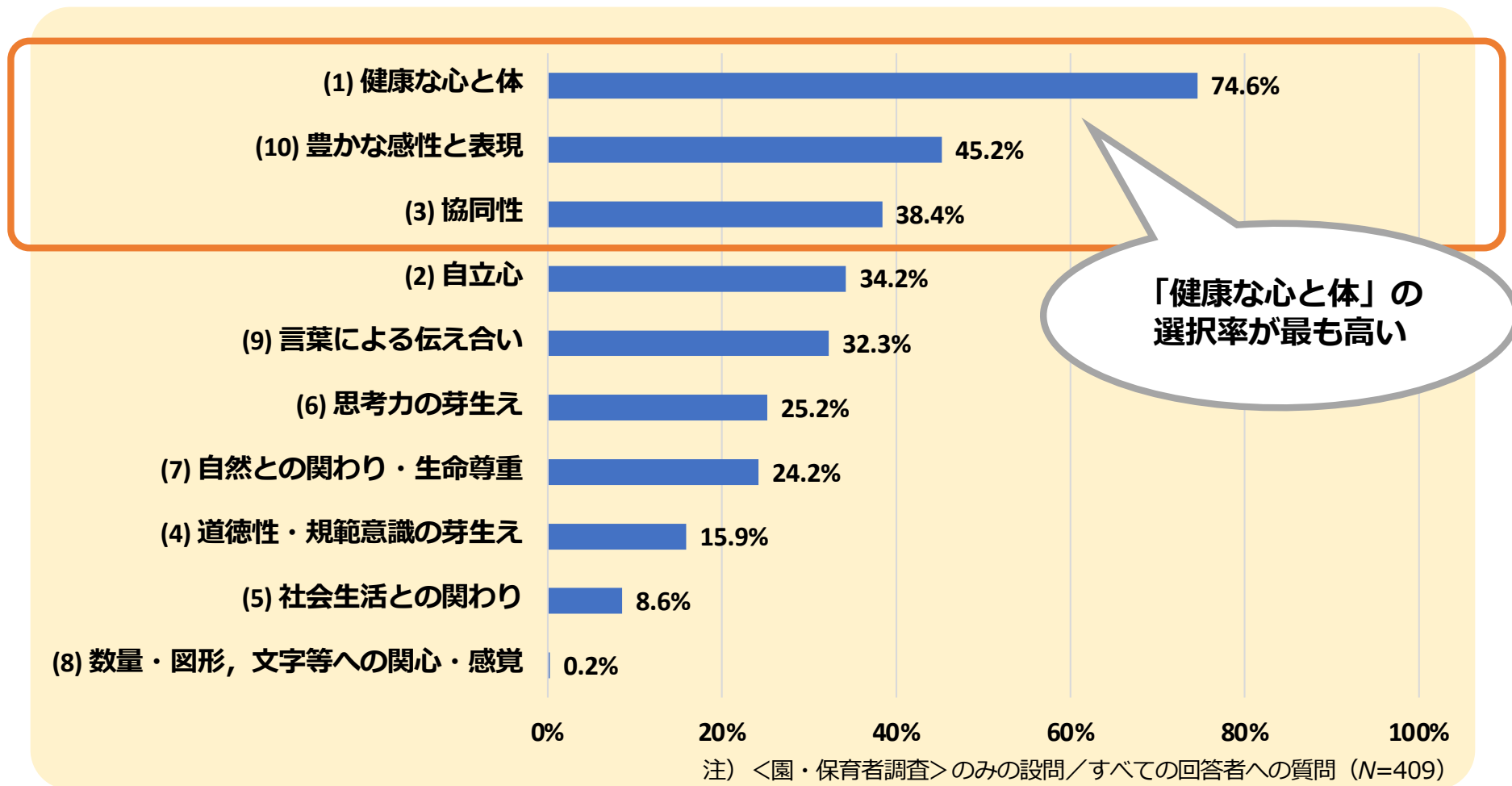
（＜園・保育者＞7番目41.1%，＜保護者＞1番目58.2%）も

＜園・保育者調査＞では他の資質・能力と比べて選択率がやや低いものの，半数近くの回答者に選択されていました

<園・保育者調査>

6. 主な結果

（5）「10の姿」の中で特に大切にしたい力



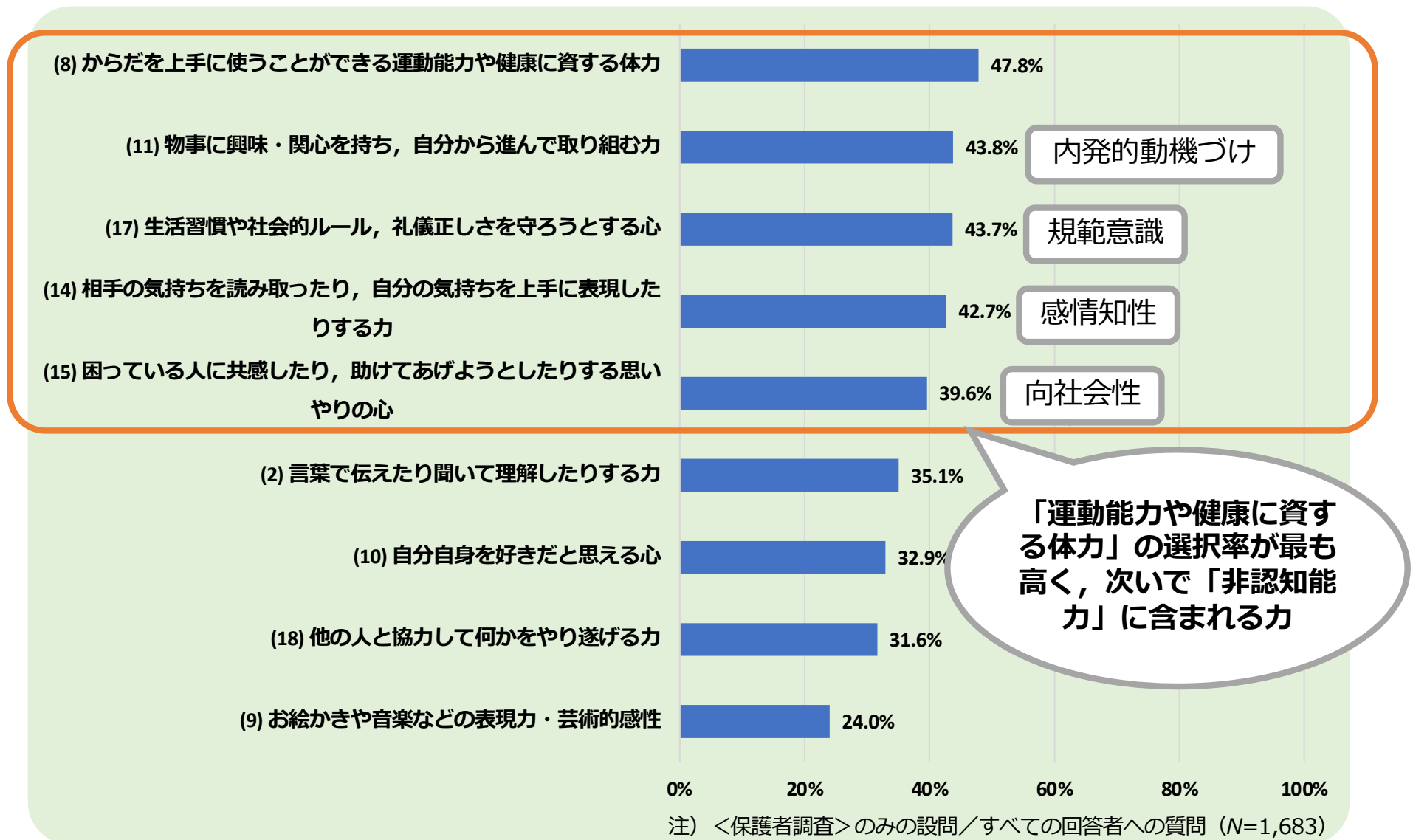
Q. 「10の姿」の中で特に大切にしたい力【上位3つ選択】

「10の姿」に含まれる資質・能力の中で特に大切にしたい力として選択した人の割合が多いのは、順に1番目「健康な心と体」（74.6%）／2番目「豊かな感性と表現」（45.2%）／3番目「協同性」（38.4%）でした

<保護者調査>

6. 主な結果

（6）園の中で特に伸ばしてほしい資質・能力

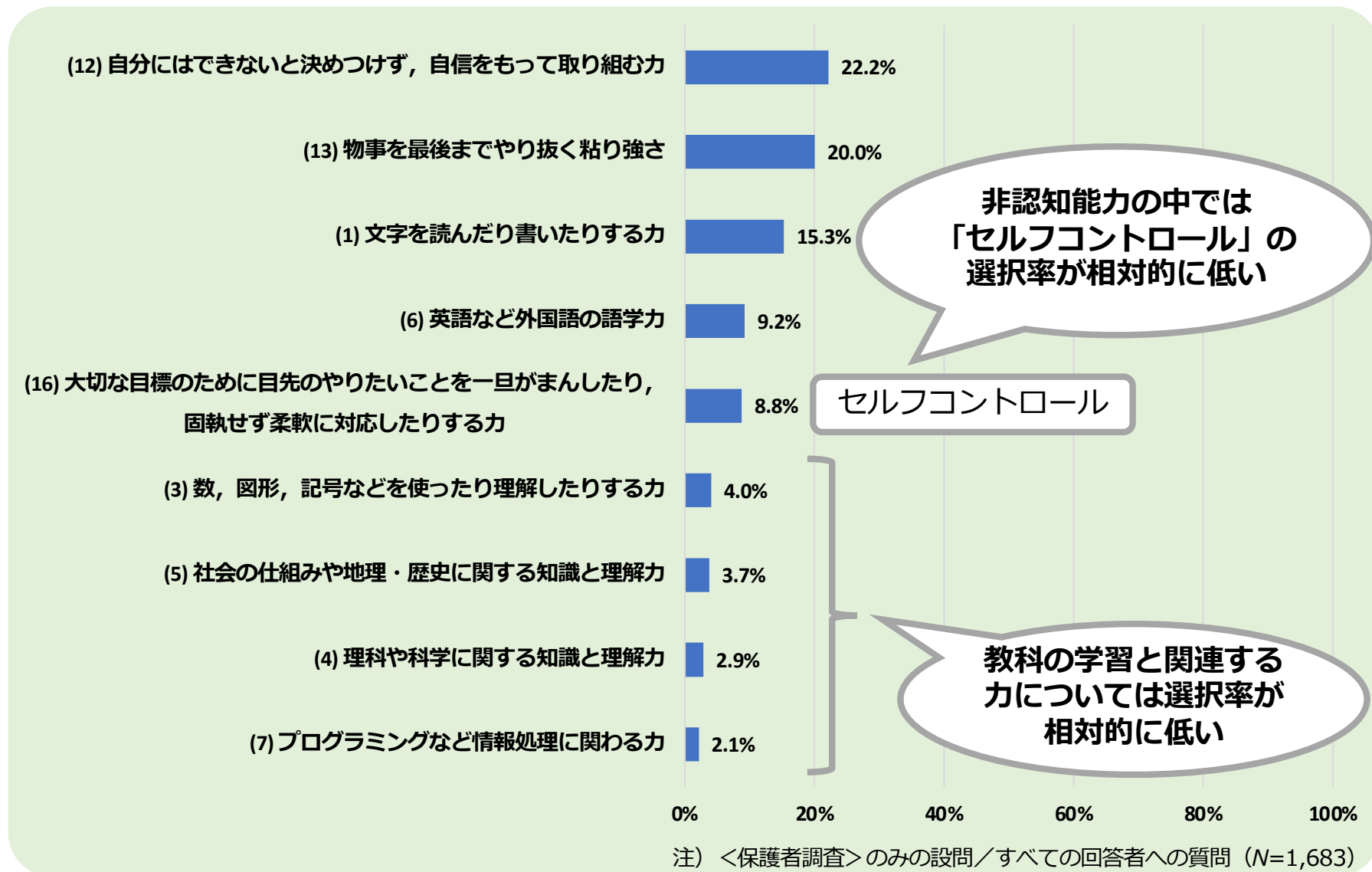


Q. 18の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力【上位5つ選択】

<保護者調査>

6. 主な結果

（6）園の中で特に伸ばしてほしい資質・能力



Q. 18の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力【上位5つ選択】
（続き）

<保護者調査>

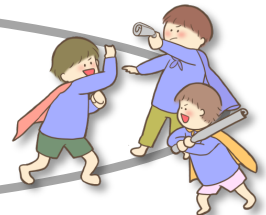
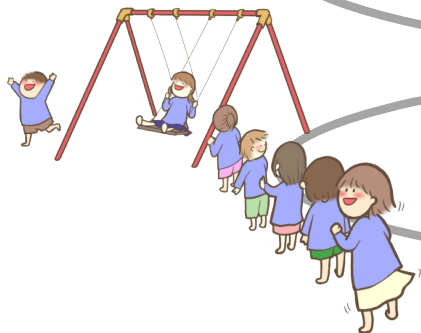
6. 主な結果 (6) 園の中で特に伸ばしてほしい資質・能力

<保護者調査>で18の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力として選択した人の割合が多いのは、順に

- 1番目「からだを上手に使うことができる運動能力や健康に資する体力」（47.8%）
- 2番目「物事に興味・関心を持ち、自分から進んで取り組む力」（43.8%）
- 3番目「生活習慣や社会的ルール、礼儀正しさを守ろうとする心」（43.7%）
- 4番目「相手の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを上手に表現したりする力」（42.7%）
- 5番目「困っている人に共感したり、助けてあげようとしたりする思いやりの心」（39.6%）でした

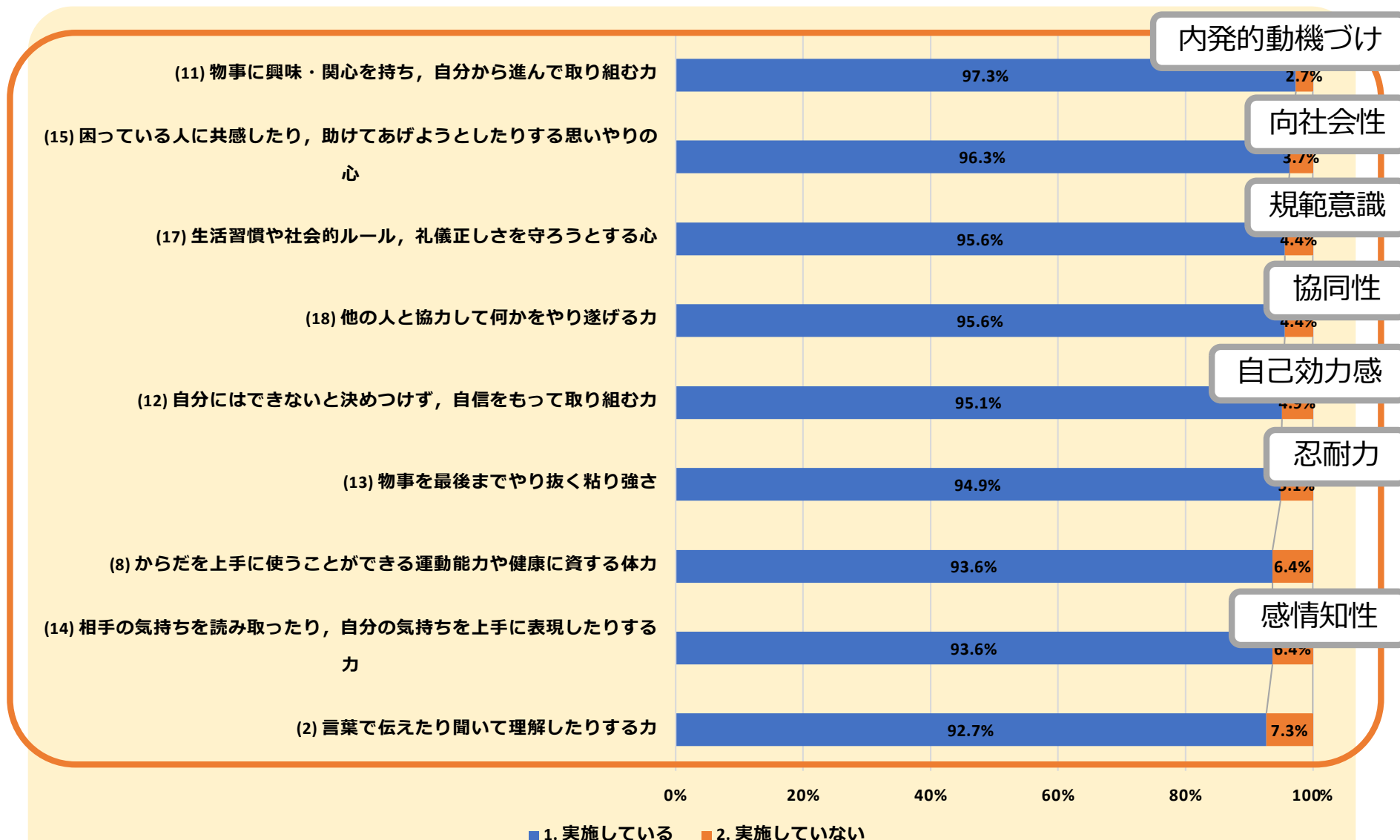
この上位5つの資質・能力は、お子さんの年齢によらず「特に伸ばしてほしい」と選択した人の割合が多く見られました

「からだを上手に使うことができる運動能力や健康に資する体力」は、<園・保育者調査>の「10の姿」の中で大切にしたい力の中でも「健康な心と体」（74.6%）の選択率が1位でした



6. 主な結果

（7）資質・能力を育むためのプログラムや取り組みの実施

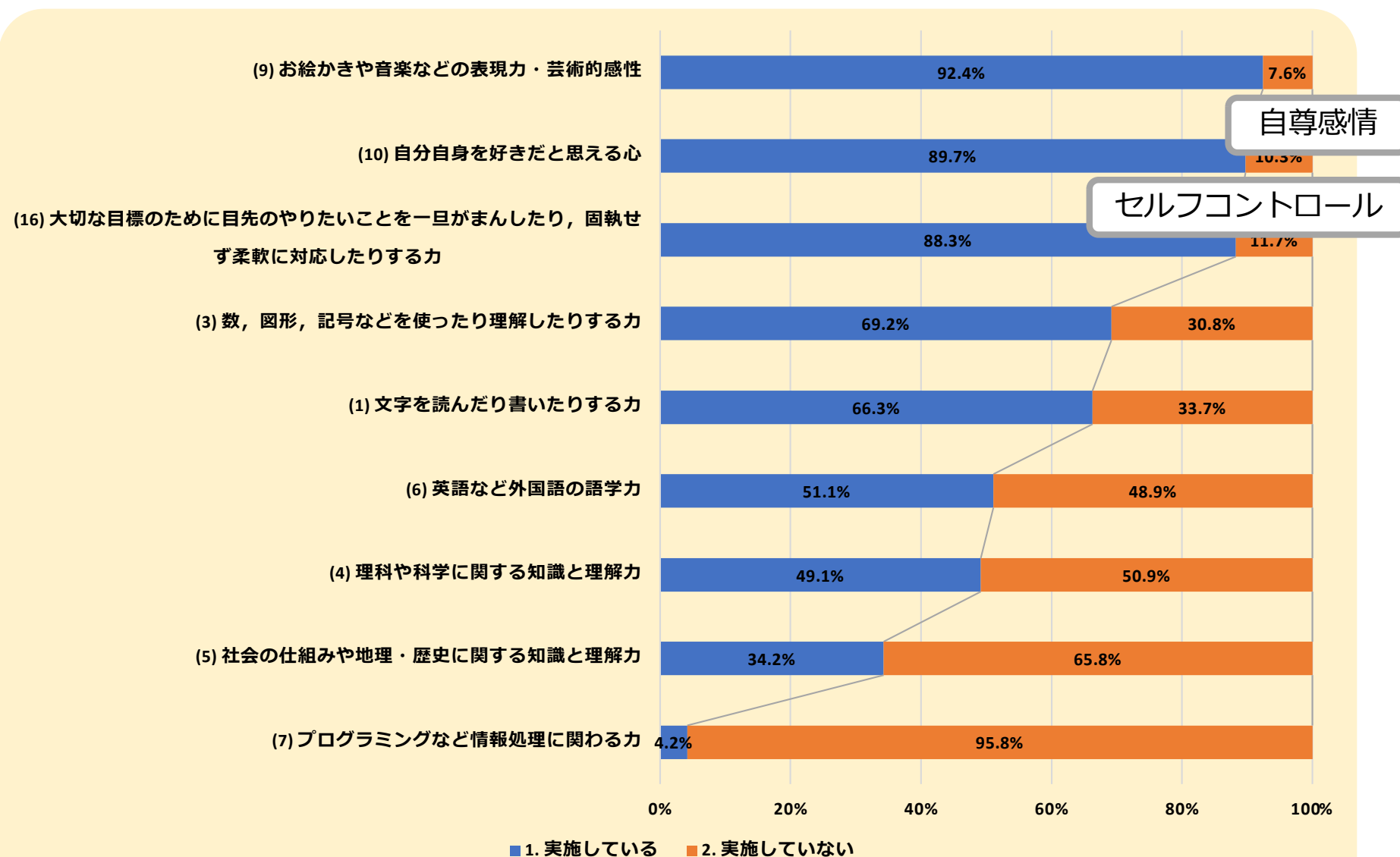


注）<園・保育者調査> のみの設問／すべての回答者への質問（N=409）

Q. 資質・能力を育むためのプログラムや取り組みの実施

6. 主な結果

(7) 資質・能力を育むためのプログラムや取り組みの実施



注) <園・保育者調査> のみの設問／すべての回答者への質問 (N=409)

Q. 資質・能力を育むためのプログラムや取り組みの実施（続き）

6. 主な結果

（7）資質・能力を育むためのプログラムや取り組みの実施

＜園・保育者調査＞でその資質・能力を育むためのプログラムや取り組みを園（施設）で「実施している」と回答した人が多い資質・能力は、順に

- 1番目「物事に興味・関心を持ち、自分から進んで取り組む力」（97.3%）
- 2番目「困っている人に共感したり、助けてあげようとしたりする思いやりの心」（96.3%）
- 3番目「生活習慣や社会的ルール、礼儀正しさを守ろうとする心」（95.6%），
「他の人と協力して何かをやり遂げる力」（95.6%）
- 5番目「自分にはできないと決めつけず、自信を持って取り組む力」（95.1%）

上位はいずれも「非認知能力」に含まれる力でした
他の「非認知能力」についても、いずれも80～90%以上の回答者が
「実施している」と回答していました

一方

その資質・能力を育むためのプログラムや取り組みを園（施設）で「実施していない」と回答した人が多い資質・能力は、順に

- 1番目「プログラミングなど情報処理に関わる力」（95.8%）
- 2番目「社会の仕組みや地理・歴史に関する知識と理解力」（65.8%）
- 3番目「理科や科学に関する知識と理解力」（50.9%）でした

6. 主な結果

(8) 5つの「非認知能力」の重視度・関心・期待・取り組み

特に取り上げた5つの「非認知能力」

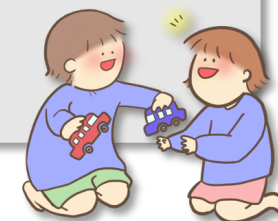
(1)内発的動機づけ（物事に興味・関心を持ち，自分で決めて自分から進んで物事に取り組む力）

(2)自己効力感（自分にはできないと決めつけず，自信をもって物事に取り組む力）

(3)感情知性（相手の気持ちを読み取ったり，自分の気持ちを上手に表現したりする力）

(4)向社会性（困っている人に共感したり，助けてあげようとしたりする思いやりの心）

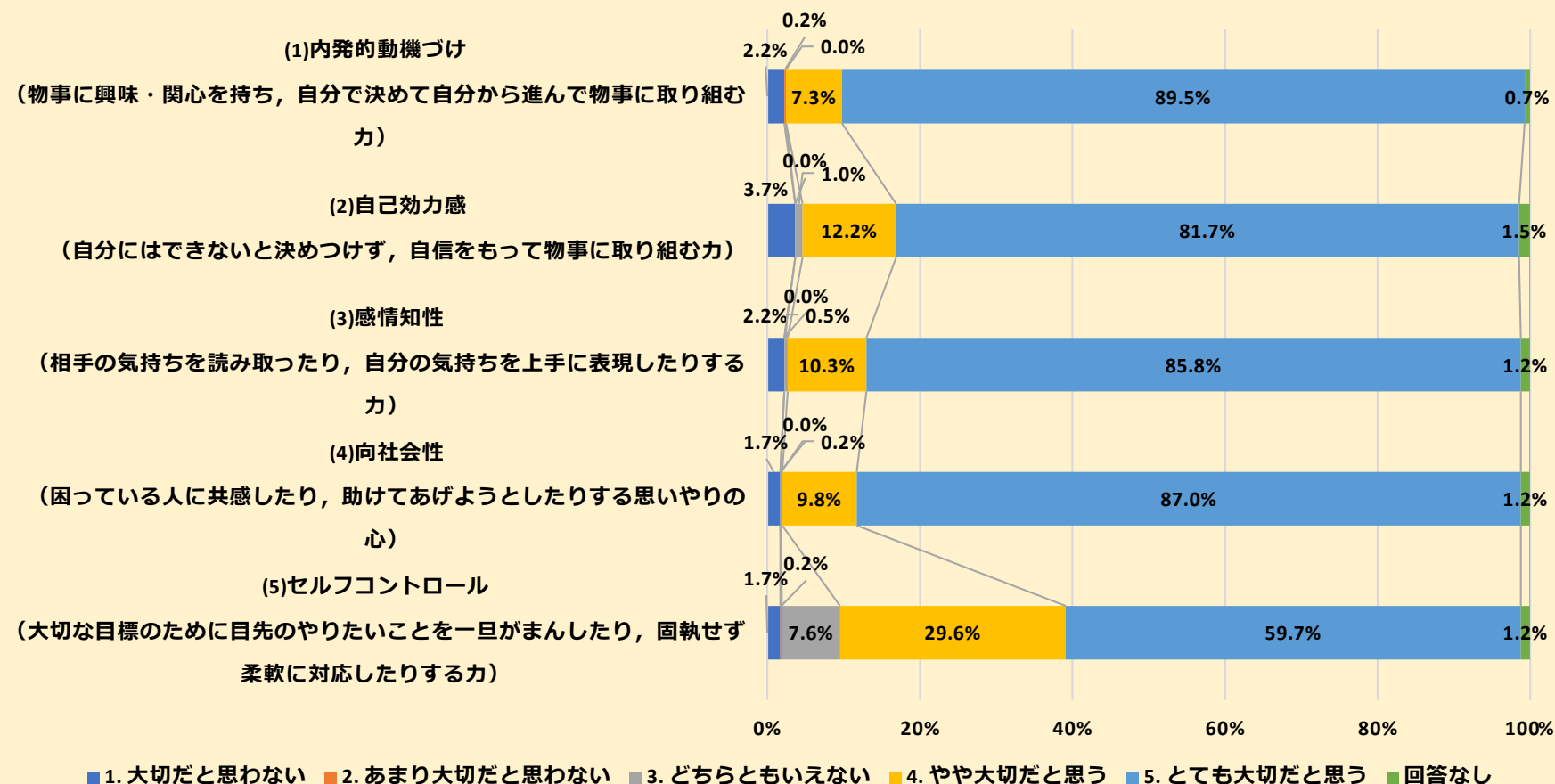
(5)セルフコントロール（大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり，固執せず柔軟に対応したりする力）



「非認知能力」に含まれる資質・能力のうち5つを取り上げて，
＜園・保育者調査＞では（1）重視度，（2）プログラムや活動への関心，（3）園の中
での取り組み・活動・関わり方の工夫，（4）教材やプログラムに対するニーズ
＜保護者調査＞では（1）重視度，（2）ご家庭での働きかけや工夫，（3）園への期待，
（4）教材やプログラムに対するニーズ についてお尋ねしました

6. 主な結果

（8）-1. 5つの「非認知能力」の重視度



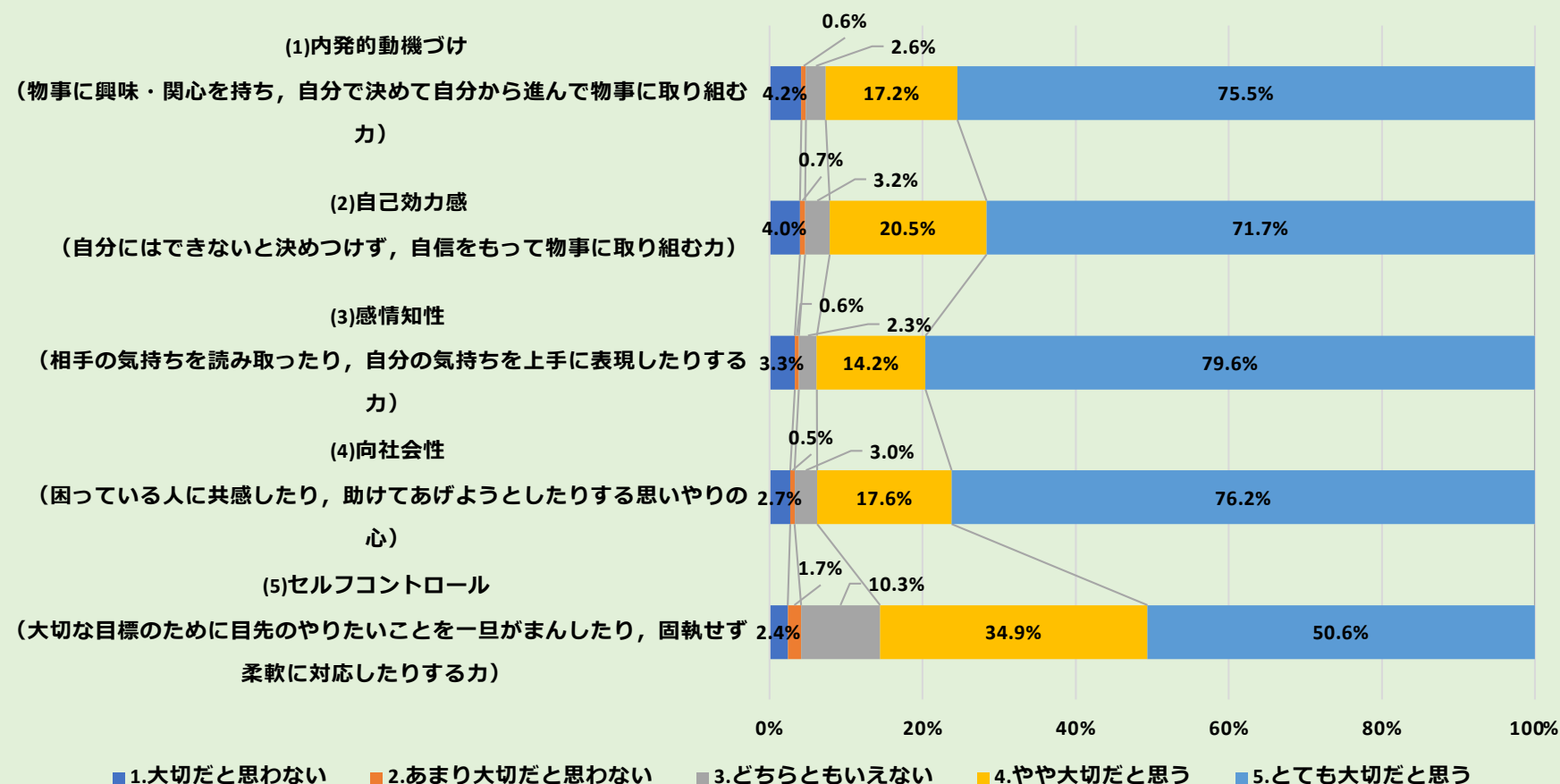
注) すべての回答者への質問 (N=409)

Q. お子さんにとって、この力はどのくらい大切だと感じますか？

5つの非認知能力についていずれも「とても大切だと思う」という回答が最も多く、「とても大切だと思う」または「やや大切だと思う」という回答の合計が80～90%以上を占めていました（※ただし「セルフコントロール」は選択率がやや低い）

6. 主な結果

（8）-1. 5つの「非認知能力」の重視度



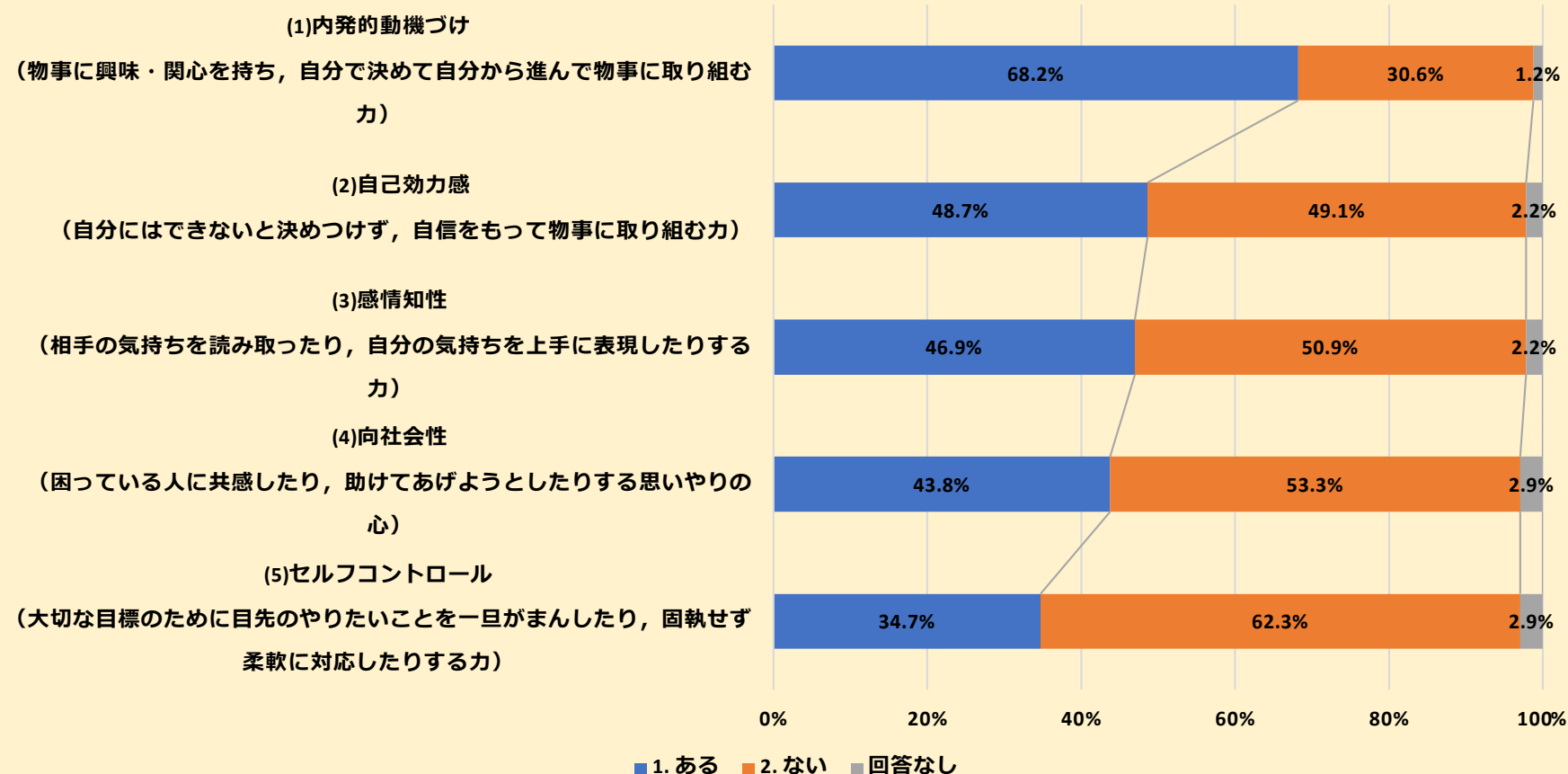
注) すべての回答者への質問 (N=1,683)

Q. お子さんにとって、この力はどのくらい大切だと感じますか？

5つの非認知能力についていずれも「とても大切だと思う」という回答が最も多く、「とても大切だと思う」または「やや大切だと思う」という回答の合計が80～90%以上を占めていました（※ただし「セルフコントロール」は選択率がやや低い）

6. 主な結果

（8）-2. 5つの「非認知能力」への関心



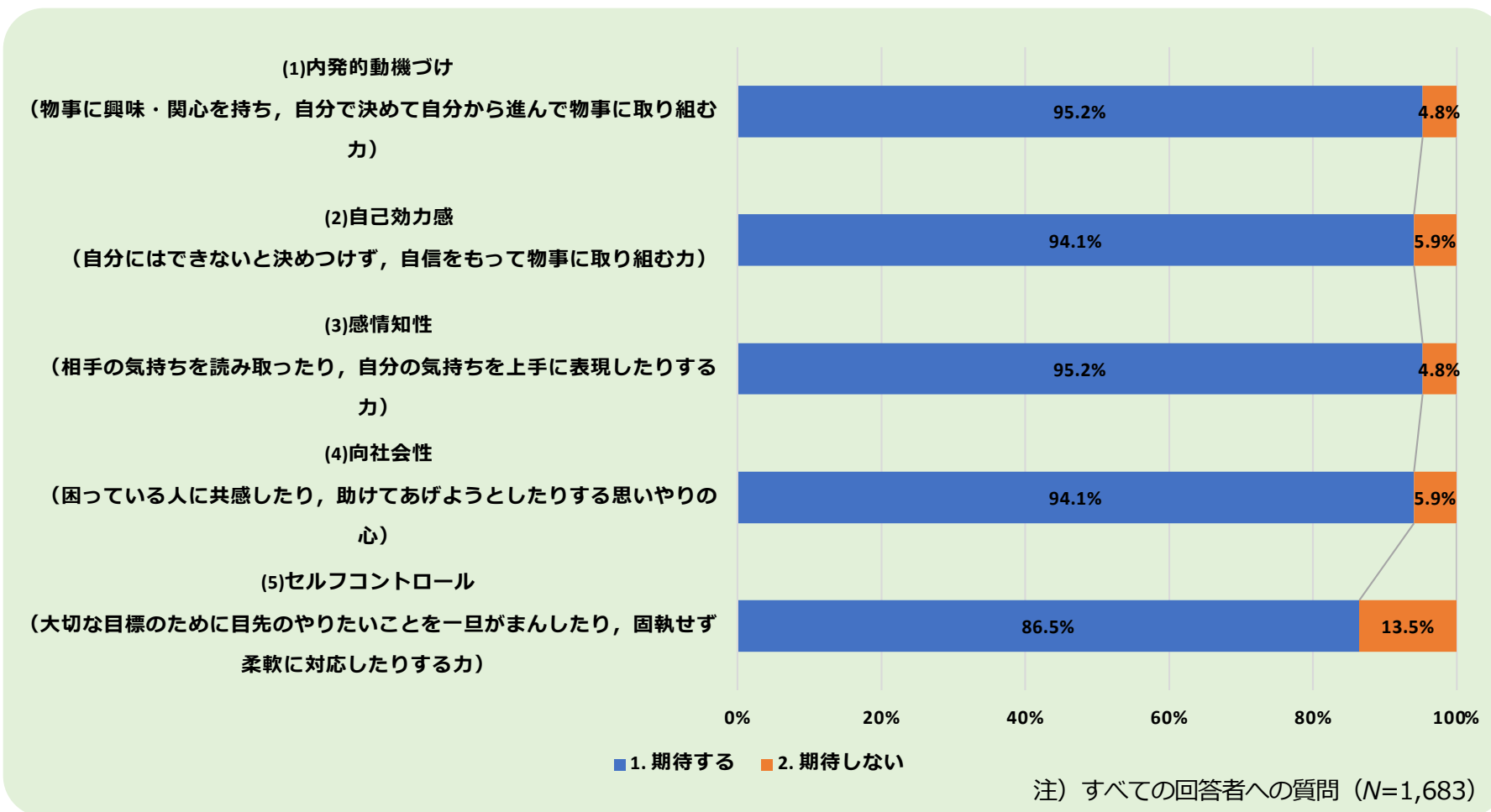
注) すべての回答者への質問 (N=409)

Q. こうした力を伸ばすためのプログラムや活動について調べたり聞いたりしたことはありますか？

その力を伸ばすためのプログラムや活動を調べたり聞いたりしたことが「ある」人の割合が多い順に, 「内発的動機づけ」(68.2%) / 「自己効力感」(48.7%) / 「感情知性」(46.9%) でした

6. 主な結果

（8）-3. 5つの「非認知能力」についての園への期待

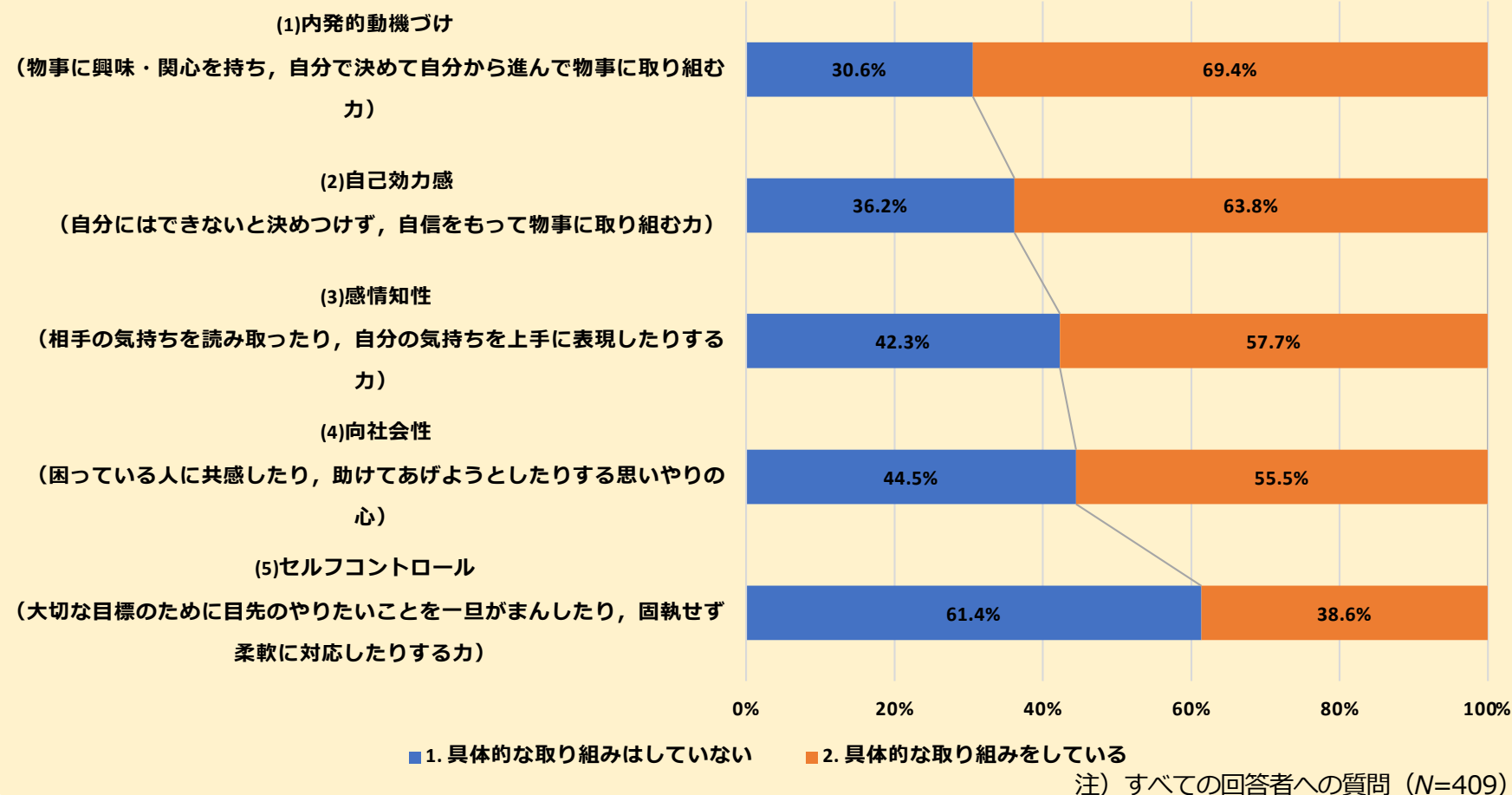


Q. こうした力を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？

いずれの力も、その力を伸ばす取り組みが園で行われることを「期待する」人の割合が80～90%以上を占めていました

6. 主な結果

(8) -4. 5つの「非認知能力」についての園の中での取り組み

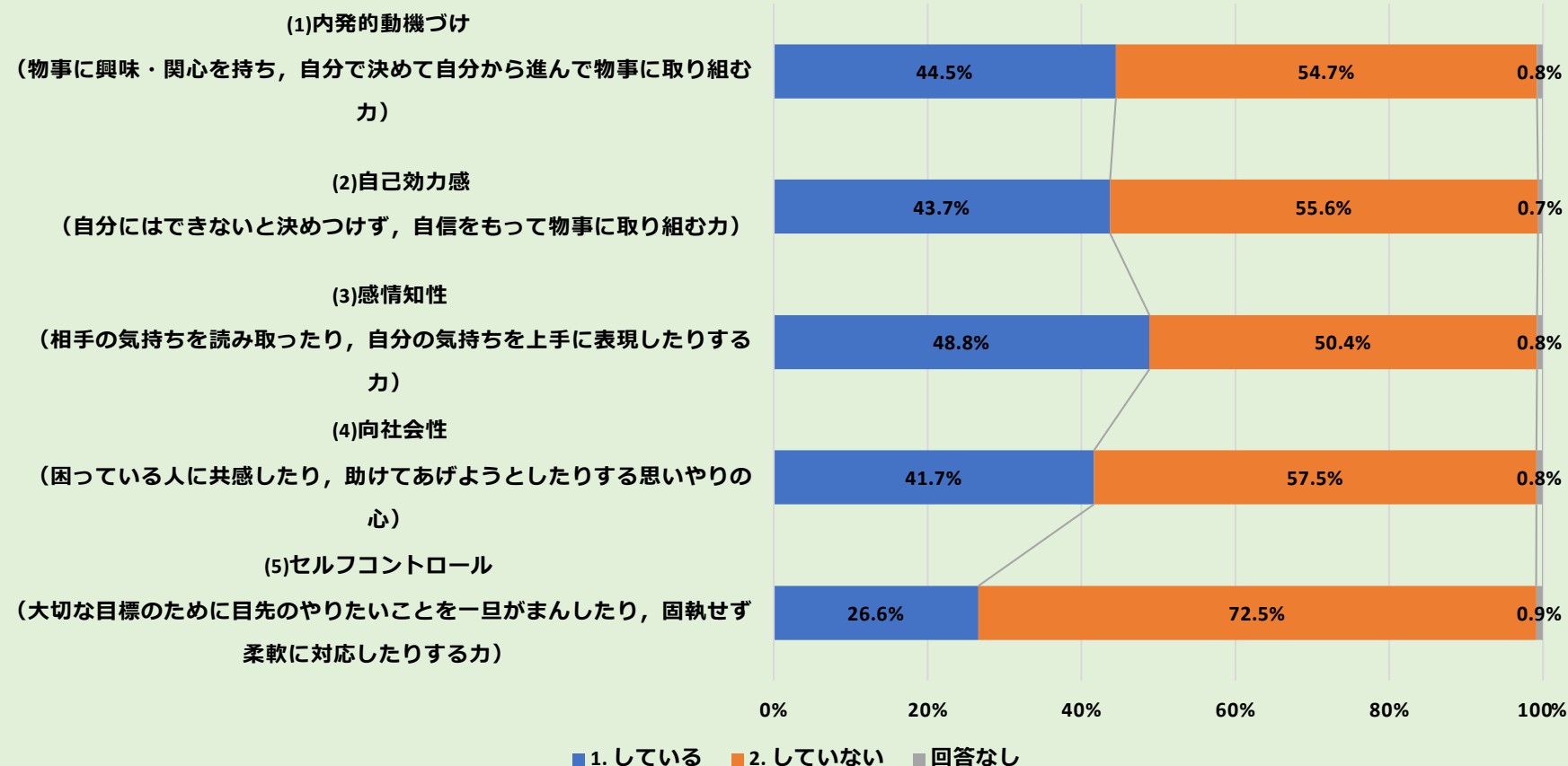


Q. こうした力を伸ばすための具体的な取り組み・活動・関わり方の工夫を園の中でしていますか？

「具体的な取り組みをしている」人の割合が多い順に、「内発的動機づけ」（69.4%）／「自己効力感」（63.8%）／「感情知性」（57.7%）でした

6. 主な結果

（8）-5. 5つの「非認知能力」についての家庭での取り組み



注）すべての回答者への質問（N=1,683）

Q. こうした力を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でしていますか？

具体的な働きかけや工夫をご家庭で「している」人の割合が多い順に「感情知性」（48.8%）／「内発的動機づけ」（44.5%）／「自己効力感」（43.7%）でした



8. まとめ

- ① **「非認知能力」は大切と考える人が多いが言葉の理解にはばらつきも**
 - ・ 園・保育者は「非認知能力」を「知っている」人の割合が多く、保護者は「知らない」人の割合が多かったが、どちらの調査も「非認知能力を知っている」回答者の約90%が非認知能力を「とても大切だと思う」または「やや大切だと思う」と回答
- ② **「非認知能力」を知っている園・保育者は研修や勉強会の参加や実践を園で行っているケースが多いが保護者の家庭での取り組みは半数程度**
 - ・ 家庭で働きかけや工夫をしない理由として多いのは「何をして良いか分からないから」で約50%を占める／一方、園で非認知能力が育まれることへの保護者の期待は高い
- ③ **園・保育者／保護者ともに資質・能力の中で「特に大切にしたい力」の上位を占めるのは「非認知能力」＋「言葉の理解」**
 - ・ 特に「自尊感情」の選択率が高く「内発的動機づけ」「感情知性」「向社会性」も上位／保護者はお子さんの年齢によらず、これらの力を「特に大切」と考える傾向にある
- ④ **保護者が「園で伸ばしてほしい力」の上位は「健康に資する体力」＋「非認知能力」**
 - ・ 「運動能力・健康に資する体力」は最も選択率が高い／園・保育者調査の「10の姿」の中で特に大切にしたい力」1位も「健康な心と体」（コロナ禍の影響もある可能性）
 - ・ 非認知能力の中で上位は「内発的動機づけ」「規範意識」「感情知性」「向社会性」



ご清聴ありがとうございました